



Kekkaku

結核

▼ 読みたい項目をクリックしてください

Vol. 98 No.4 June 2023

第98回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会 講演集/東京

・ <u>総会概要／各種研究会開催案内</u>	1-10
・ <u>交通案内図会場／会場案内図</u>	11-13
・ <u>役員会日程</u>	14
・ <u>総会日程</u>	16-19
・ <u>第98回日本結核・非結核性抗酸菌症学会目次</u>	20-50
・ 特別講演	57-58
・ パネルディスカッション	61-63
・ 会長講演	67
・ 教育講演	71-75
・ シンポジウム	79-97
・ エキスパートセミナー	101-106
・ ICD講習会	109-110
・ 要望課題	113-124
・ 一般演題	127-148
・ 索引 (演題番号)	150-155

日本結核・非結核性抗酸菌症学会

THE JAPANESE SOCIETY FOR TUBERCULOSIS AND NONTUBERCULOUS MYCOBACTERIOSIS



第98回日本結核・非結核性抗酸菌症学会 学術講演会の開催にあたって

会長 加藤誠也

(公益財団法人結核予防会結核研究所)

日本結核病学会は大正12年(1923年)に北里柴三郎先生らを中心に設立され、同年第1回総会・学術講演会が開催されました。第98回学術講演会は学会創立100周年記念大会として開催されることとなりました。この記念すべき学術講演会の会長を拜命したことは大変光栄なことであり、ご高配を賜りました関係の皆様にご心より感謝申し上げます。

学会創立当時、結核は毎年10万人以上の死亡原因であり、「国民病」として恐れられていました。1950年にストレプトマイシンが導入され、1951年に結核予防法が制定・施行され、官民挙げての対策が功を奏して患者数が減少するようになりました。1960年代から70年代にかけて年平均10%の罹患率の低下を達成しました。80年代には罹患率減少の鈍化、さらに90年代の後半には逆転上昇を経験したため、「結核緊急事態宣言」が発せられましたが、2000年以降は再び減少傾向を維持し、2021年の年報報告で罹患率は人口10万対9.2になりました。このことは、これまでの目標であった「低まん延化」が達成され、次の目標である「根絶」を目指す段階に入ったことを意味します。

世界の2020年の罹患者数は990万人、死亡者数は150万人以上と推計されています。WHOが展開しているEnd TB Strategyにおいて、2035年までの目標として設定した罹患率人口10万対10を達成するためには2025年以降罹患率の低下を年率約17%に加速化させる必要があります、そのための革新的な技術開発が進められています。また、結核に代わるように増加している非結核性抗酸菌症についても基礎分野・予防・診断・治療に多くの研究課題が残されています。以上のような状況から本学会のテーマを「歴史を振り返り、結核の根絶に向けて～抗酸菌を巡る研究は面白い～」としました。

この学会では、次のような考え方に基いてプログラムを企画します。①先人が尽力された画期的な研究や対策を振り返り、現代の高まん延国の対策に役立てる。②今後の対策のために、高齢者や外国出生者を含めたハイリスク者への医療・対策を検討する。③診断・治療・対策の新技术と開発に必要な基礎研究の議論をする。④欧米のみならず近年進展が著しいアジアの国々を含めた国際的な医療・体制・研究を俯瞰する。⑤非結核性抗酸菌症の医療・対策や基礎的な研究について十分な議論を行う。⑥エキスパート委員会企画として、幅広い参加者を対象として基礎的な知見含めて学ぶ機会を提供する。⑦新型コロナウイルス感染症による結核の疫学や医療体制に対する影響とその対応を議論する。

これらを通して、我が国の結核及び非結核性抗酸菌症の現状を学び、将来の対策・医療に貢献する研究の方向を考え、若手の研究者の励みとなるような学術講演会を目指したいと考えております。多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第98回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会 プログラム委員

加藤 誠也 (会長), 慶長 直人 (事務局長), 関 雅文, 藤田 昌樹, 永田 容子, 伊藤 穰, 露口 一成,
吉山 崇, 阿彦 忠之, 森本 耕三 (順不同)

第 98 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会

I. 会長，テーマ，会期および会場

1. 会長 加藤 誠也（公益財団法人結核予防会結核研究所）
2. テーマ「歴史を振り返り，結核の根絶に向けて～抗酸菌を巡る研究は面白い～」
3. 会期 2023 年 6 月 10 日（土）・11 日（日）
4. 会場 京王プラザホテル
〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1

II. 参加者の皆様へ

1. オンライン参加登録

第 98 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会 WEB サイト

<https://www.kekkaku.gr.jp/jst98/>

【参加登録期間】5 月 10 日（水）12 時～6 月 29 日（木）12 時

※参加費（詳細は下記 3 を参照）のお支払いは，クレジットカード決済のみとなりますが，クレジットカードが不可の場合は，運営事務局（98jst@convention-plus.com）までお知らせください。

※現地会場（京王プラザホテル）でも参加登録は可能ですが，参加費のお支払いは現金のみとなります。

2. 参加受付

場所：京王プラザホテル 本館 4F 花 ホワイエ

日時：6 月 10 日（土）7 時 30 分～18 時

6 月 11 日（日）7 時 30 分～14 時

3. 参加費

正会員：15,000 円

非会員：15,000 円

非会員のメディカルスタッフ：8,000 円

エキスパート会員：3,000 円

※正会員とは，医師，医科学研究者，等で電子版学会誌の閲覧および会員ホームページの閲覧権利を有する方です。エキスパート会員とは，看護師，准看護師，保健師，理学療法士，栄養士・管理栄養士，薬剤師，臨床検査技師，等で，電子版学会誌の閲覧および会員ホームページの閲覧権利を有する方です。

初期臨床研修医，学生会員，医学・医学部学生，看護学部学生，看護専門学生等：無料

※参加登録時に学生証などの証明できるデータ（JPEG，PDF など）のアップロードが必要です。

※大学院生は有料です（15,000 円）。

名誉会員・功労会員・招待（非会員の座長・演者など）：無料

※当日，会場の参加受付（京王プラザホテル 本館 4F 花 ホワイエ）にお越しいただきましたらネームカードをお渡しいたします。オンライン参加登録は不要です。

団体会員・賛助会員：各個人会員ごとの参加費が必要です。学会事務局へご連絡ください。

[領収書]

オンライン参加登録

参加費の決済完了後，参加登録のマイページからダウンロード（保存・印刷）が可能となります。

現地会場

参加受付で参加費を現金でお支払いいただいた後，お渡しいたします。

[参加証明書]

現地会場

参加受付でお渡しします。

※オンライン参加登録，現地参加登録共通です。

オンデマンド配信

オンライン参加登録ならびに参加費の決済が完了した後、参加登録のマイページからダウンロード（保存・印刷）が可能となります。

※ダウンロードは、オンデマンド配信が開始する6月15日（木）12時からとなります。

4. 開催形式

本学術講演会は現地会場（京王プラザホテル）での開催のみとなり、ハイブリッド開催やWEB開催でのライブ配信はございませんが、6月15日（木）12時からオンデマンド配信を行います（一部セッションを除く、詳細は下記5を参照）。

5. オンデマンド配信期間

下記の期間、好きな時間に何度でも視聴が可能です。

6月15日（木）12時～6月29日（木）23時59分

オンデマンド配信では、下記のセッションが視聴可能です。

- ・招請講演
- ・特別講演
- ・会長講演
- ・パネルディスカッション
- ・教育講演
- ・シンポジウム（生涯教育セミナー）
- ・シンポジウム
- ・エキスパートセミナー

※今後変更になる場合もございます。詳しくは本学術講演会WEBサイトをご確認ください。

シンポジウム（生涯教育セミナー）とエキスパートセミナーは、オンデマンド配信でも受講は可能です。

「生涯教育セミナー参加証」「エキスパートセミナー参加証」は、オンデマンド配信の視聴ページから発行（ダウンロード）が可能となります。

※発行（ダウンロード）は、受講が完了したことを学会事務局で確認した後になります。

6. 日本結核・非結核性抗酸菌症学会「結核・抗酸菌症認定医/指導医」,「抗酸菌症エキスパート」の研修単位 総会出席：20単位

生涯教育セミナー受講：30単位 ※単位の加算は不可

エキスパートセミナー出席：10単位 ※単位の加算は最大30単位迄可

7. 企業展示, 書籍展示

場所：京王プラザホテル 本館4F 花C

日時：6月10日（土）8時30分～18時30分

6月11日（日）8時30分～14時

8. クローク

場所：京王プラザホテル 南館4F

日時：6月10日（土）7時30分～19時

6月11日（日）7時30分～17時30分

※PC、貴重品はお預かりできませんので、ご自身で管理をお願いいたします。

9. 共催セミナー（ランチョンセミナー, イブニングセミナー）

整理券の配付はございません。

10. 質疑をされる皆様へ

質問・発言をされる方はあらかじめマイクの横で待機の上、座長の指示に従い所属、氏名を述べてからご発言ください。

なお発言は簡潔をお願いいたします。

オンデマンド配信での質疑応答はございません。

11. その他注意

- ・会場内での撮影，録音は原則禁止です。
- ・施設内は禁煙です。
- ・会期中の呼び出しは，緊急の場合以外はいたしません。
- ・会場内での携帯電話の使用はお控えください。
- ・オンデマンド配信での視聴で掲載されるスライド，画像，動画等に関して，ビデオ撮影・録音・写真撮影（スクリーンショットを含む）は禁止します。
- ・参加登録後の取り消しは，お受けいたしかねます。お支払いいただいた参加登録費は理由の如何に関わらず返金いたしませんので，二重登録にご注意ください。

12. お問い合わせ先

第 98 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会運営事務局
 株式会社コンベンションプラス
 〒113-8538 東京都文京区湯島 2-31-14 湯島ファーストジェネシスビル 5F
 TEL：03-4355-1137 E-mail：98jst@convention-plus.com

Ⅲ. 座長の方へ

1. ご担当セッション開始 10 分前までに，次座長席（各会場右側前方）にご着席ください。
2. 進行は座長に一任いたします。

Ⅳ. 演者の方へ

1. 発表時間：指定演題の方は事前にお知らせした時間での講演をお願いいたします。
 要望課題・一般演題（口演）：発表 6 分・討論 2 分
2. 舞台上に時計装置が設置してあります。発表終了 1 分前に黄色，終了時に赤色のランプが点灯します。
 時間厳守にご協力ください。
3. 演者の方は発表の 20 分前までに，次演者席（各会場内左側前方）にお越しください。

Ⅴ. PC 発表

1. PC 受付

場所：京王プラザホテル 南館 4F ホワイエ
 日時：6 月 10 日（土）7 時 30 分～18 時
 6 月 11 日（日）7 時 30 分～14 時 30 分

Windows ノート PC の持ち込み，USB メモリによる受付が可能です。

Macintosh ノート PC をご持参ください。USB メモリによる受付はできません。

※発表の60 分前までに，上記 PC 受付にて発表データの試写・受付をおこなってください。

※MacOS で作成された PowerPoint のデータ受付は可能ですが，事前に Windows 環境で再生可能かご確認ください。Keynote を利用の方はノート PC をご持参ください。

2. データ作成

- ・スライドの画面サイズは「16：9」を推奨しますが，「4：3」も可能です。
- ・データは最新のウイルス駆除ソフトにてチェックをお済ませの上，ご持参ください。

3. USB メモリによる受付

- ・発表用の PC は，Windows10 をご用意しております。Macintosh は PC 本体のお持ち込みのみ対応いたします。
- ・アプリケーションは，Microsoft PowerPoint2010 以降（Office365 を含む）をご利用可能です。
- ・発表用のファイル名は「演題番号_氏名」としてください。（例：演題番号_結核太郎.pptx）
- ・文字は Windows 標準フォントを使用してください。
- ・動画データは PowerPoint データと同じフォルダに保存してください。万が一，会場の PC で動画が正常に動作しない場合を想定し，念のためご自身の PC もご持参ください。

- ・発表者ツールは使用できません。
- ・発表の際は演壇上のモニターで画面をご確認の上、キーボード・マウスを使用し、ご自身で操作をお願いいたします。
- ・お預かりしたデータは、学会事務局にて責任をもって消去いたします。

4. PC 本体の持ち込み

- ・スリープ機能やスクリーンセーバーの設定は事前に解除してください。
- ・D-sub 15pin3列タイプまたは HDMI のコネクタで接続いたします。変換コネクタが必要な方は、必ずご自身でご用意ください。
- ・AC アダプターを必ずご持参ください。
- ・PC 受付にて外部出力のチェック、発表データの試写、動作確認を行っていただいた後で、口演会場左前方 PC オペレータ席まで、ご自身で PC をお持ちください。
- ・PC は、オペレータ席で接続いたします。演壇上に設置のキーパッド、マウスで操作してください。PC 受付の際に、演壇上の機材についてご説明いたします。
- ・発表者ツールは使用できません。

VI. COI (利益相反) の開示

- 本学術講演会において、筆頭演者は、COI (利益相反) の開示が求められます。詳細は、日本結核・非結核性抗酸菌症学会のホームページ (https://www.kekkaku.gr.jp/medical_staff/) をご確認ください。
- 発表時は、スライドの2枚目において、COI 状態を開示してください。
日本結核・非結核性抗酸菌症学会ホームページより開示用スライド (「総会 COI スライド例：総会開示用スライド雛形 (ppt 形式)」) をダウンロードしてご使用ください。

VII. 理事会, 社員総会, 学会賞授賞式

- 理事会
6月9日 (金) 14:40~16:00 京王プラザホテル 南館 4F 扇 (C会場)
- 社員総会・学会賞授賞式
6月9日 (金) 16:10~17:25 京王プラザホテル 南館 4F 錦 (B会場)

VIII. 認定制度研修単位

※日本結核・非結核性抗酸菌症学会 (JSTB) 学術講演会の出席は、他団体認定制度の研修単位となっています。

1. 日本結核・非結核性抗酸菌症学会
(結核・抗酸菌症認定医・指導医, 登録・認定抗酸菌症エキスパート 申請・更新単位)
 - JSTB 学術講演会
出席者: 20 単位 筆頭演者: 5 単位 (認定医・指導医)・15 単位 (エキスパート)
 - JSTB 生涯教育セミナー
出席者・講師: 30 単位 (会期中の単位は加算不可)
 - JSTB エキスパートセミナー
出席者・講師: 10 単位 (会期中の単位は 30 単位まで加算可)
2. 日本呼吸器学会 (呼吸器専門医 更新単位)
 - JSTB 学術講演会
出席者: 5 単位 筆頭演者: 3 単位
3. 日本感染症学会 (感染症専門医 更新単位)
 - JSTB 学術講演会
出席者: 3 単位 筆頭演者: 3 単位
4. ICD 制度協議会 (infection control doctor 更新単位)
 - JSTB 学術講演会 (支部会含む)

出席者：5単位 筆頭演者：2単位

● ICD 講習会

出席者・講師：15単位

IX. 生涯教育セミナー

シンポジウム1「我が国の結核対策の方向性」

シンポジウム3「外国出生者対策の進展」

シンポジウム7「non-MACを含めたNTM症の新展開」

シンポジウム8「LTBI治療のさらなる進展を目指して」

【現地会場】

<受講申込方法>

- 受講希望者は、学術講演会当日にセミナー会場入口にて生涯教育セミナー参加証をお受け取りください。
- 受講料は無料ですが、学術講演会の参加費をご負担いただきます。
- 生涯教育セミナー参加証は各自で保管してください。本参加証がないと認定医等の申請・更新の証明ができません。
- 1つのシンポジウムにつき30単位が付与されます。なお、会期中の各シンポジウムの単位は加算できません（例：シンポジウム1を受講，シンポジウム7を受講⇒付与は30単位）。

<受講時の注意>

- 30分以上の遅刻，30分以上前の早退については、原則として出席にはなりません。
- 止むを得ない場合については委員会にて判定いたしますので、セミナー会場入口にて理由をお伝えください。
- 生涯教育セミナーとICD講習会の時間は重複しませんので、両方の受講が可能です。

【オンデマンド配信】

<受講申込方法>

- 受講希望者は、学術講演会WEBサイトからオンライン参加登録が必要です。
生涯教育セミナー参加証は受講終了後にオンデマンド配信の視聴ページから発行（ダウンロード）いただけます。
- 受講料は無料ですが、学術講演会の参加費をご負担いただきます。
- 生涯教育セミナー参加証は各自で保管してください。本参加証がないと認定医等の申請・更新の証明ができません。
- 生涯教育セミナーの視聴が完了できたことを運営事務局にて確認できた後、1つのシンポジウムにつき30単位が付与されます。なお、会期中の各シンポジウムの単位は加算できません（例：シンポジウム1を受講，シンポジウム7を受講⇒付与は30単位）。

X. エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）

【現地会場】

<受講申込方法>

- 受講希望者は、学術講演会当日にセミナー会場入口にてエキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）参加証をお受け取りください。
- 受講料は無料ですが、学術講演会の参加費をご負担いただきます。
- エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）参加証は各自で保管してください。本参加証がないと抗酸菌症エキスパートの申請・更新の証明ができません。

●単位付与

エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）1, 2, 3：10単位（1, 2, 3の全ての受講が必要）
 エクスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）4, 5, 6：10単位（4, 5, 6の全ての受講が必要）
 エクスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）7, 8, 9：10単位（7, 8, 9の全ての受講が必要）
 エクスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）10, 11, 12：10単位（10, 11, 12の全ての受講が必要）

※最大で30単位が取得可能です。

※エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）は認定/登録エキスパートの研修単位です。

認定医・指導医の研修単位にはなりません。

<受講時の注意>

●30分以上の遅刻、30分以上前の早退については、原則として出席にはなりません。

●止むを得ない場合については委員会にて判定いたしますので、セミナー会場入口にて理由をお伝えください。

【オンデマンド配信】

<受講申込方法>

●受講希望者は、学術講演会 WEB サイトからオンライン参加登録が必要です。

エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）参加証は受講終了後にオンデマンド配信の視聴ページから発行（ダウンロード）いただけます。

●受講料は無料ですが、学術講演会の参加費をご負担いただきます。

●エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）参加証は各自で保管してください。本参加証がないと抗酸菌症エキスパートの申請・更新の証明ができません。

●エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）の視聴が完了できたことを運営事務局にて確認できた後、下記の単位が付与されます。

●単位付与

エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）1, 2, 3：10単位（1, 2, 3の全ての受講が必要）
 エクスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）4, 5, 6：10単位（4, 5, 6の全ての受講が必要）
 エクスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）7, 8, 9：10単位（7, 8, 9の全ての受講が必要）
 エクスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）10, 11, 12：10単位（10, 11, 12の全ての受講が必要）

※最大で30単位が取得可能です。

※エキスパート委員会企画セミナー（エキスパートセミナー）は認定/登録エキスパートの研修単位です。

認定医・指導医の研修単位にはなりません。

XI. 第418回 ICD 講習会

1. ICD 講習会に参加されますと、申請のための業績、ICD 資格更新取得点数（15点）となります。

2. お申し込み方法

①ご参加につきましては、原則として事前申し込みが必要です。

②会期の1週間前までにICD 制度協議会のホームページ（<http://www.icdjc.jp/klist.html>）よりお申し込みください。

③受付は先着順とし、定員に達し次第締め切りといたします。

④講習会申し込みをキャンセルされる場合は、ICD 制度協議会事務局（下記5）までお知らせください。

3. お申し込み後の流れ

①ICD 講習会参加証は講習会開催の1カ月前を目途に送付いたします。

②講習会当日、ICD 講習会参加証をご持参いただき、ICD 講習会会場前受付にて参加印を押しますので紛失しないように保管をお願いいたします。

4. ICD 講習会単位付与に関する注意

- ①遅刻・早退による単位付与はいたしていません。(聴講可)
- ②座長による終演の言葉または案内状記載の終了予定時間までの聴講が原則です。
- ③交通手段は、時間に余裕をもってご手配ください。遅刻・早退理由にはなりません。

5. お問い合わせ先

ICD 制度協議会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目28-8 日内会館 2F

一般社団法人日本感染症学会事務局内

TEL : 03-5842-5845 FAX : 03-5842-5846

E-mail : icd@theia.ocn.ne.jp

XII. 宿泊のご案内

- ・本会学術講演会 WEB サイトの「宿泊案内」のページ (<https://www.kekkaku.gr.jp/jst98/stay.html>) から予約手配が可能です。

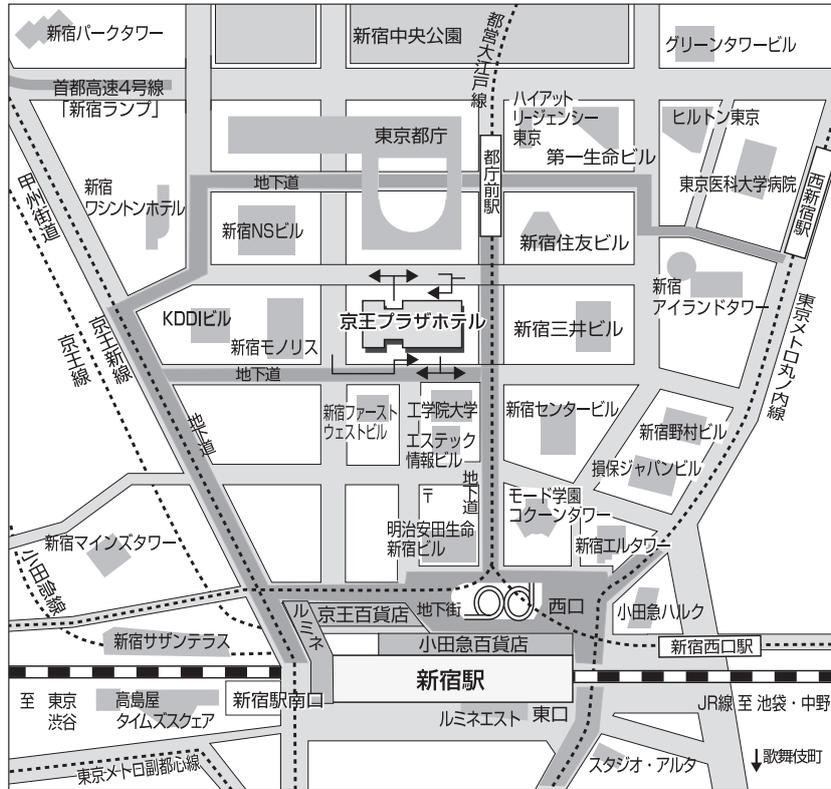
日本結核・非結核性抗酸菌症学会総会・学術講演会

回	年	開催地	会長	回	年	開催地	会長
1	大正12年	東京	北里柴三郎	51	51	札幌	立野誠吾
2	13	大阪	佐多愛彦	52	52	東京	五味二郎
3	14	福岡	武谷廣	53	53	大阪	山本和男
4	15	東京	入澤達吉	54	54	東京	島村喜久治
5	昭和2年	京都	藤浪鑑	55	55	大阪	山村雄一
6	3	東京	田澤鐮二	56	56	仙台	今野淳
7	4	札幌	有馬英二	57	57	東京	島尾忠男
8	5	大阪	今村荒男	58	58	京都	前川暢夫
9	6	東京	宮川米次	59	59	東京	青柳昭雄
10	7	名古屋	岡田清三郎	60	60	名古屋	山本正彦
11	8	京都	三戸時雄	61	61	福岡	篠田厚
12	9	東京	佐藤秀三	62	62	東京	木野智慧光
13	10	大阪	楠本長三郎	63	63	札幌	山本健一
14	11	仙台	熊谷岱藏	64	平成元年	大阪	螺良英郎
15	12	東京	西野忠次郎	65	2	東京	芳賀敏彦
16	13	京都	辻寛治	66	3	京都	久世文幸
17	14	金沢	大里俊吾	67	4	広島	斎藤肇
18	15	東京	坂口康藏	68	5	東京	青木正和
19	16	福岡	戸田忠雄	69	6	長崎	原耕平
20	17	東京	遠藤繁清	70	7	名古屋	青木國雄
21	18	京都	浅山忠愛	71	8	東京	片山透
22	22	大阪	春木秀次郎	72	9	札幌	東市郎
23	23	東京	勝俣稔	73	10	新潟	近藤有好
24	24	京都	服部峻次郎	74	11	宇都宮	北村論
25	25	金沢	日置陸奥夫	75	12	大阪	露口泉夫
26	26	東京	高野六郎	76	13	沖繩	斎藤厚
27	27	大阪	渡辺三郎	77	14	東京	森亨
28	28	東京	岡治道	78	15	倉敷	松島敏春
29	29	名古屋	勝沼精藏	79	16	名古屋	下方薫
30	30	京都	日下部周利	80	17	さいたま	川城丈夫
31	31	仙台	海老名敏明	81	18	仙台	渡辺彰
32	32	東京	隈部英雄	82	19	大阪	坂谷光則
33	33	大阪	堂野前維摩郷	83	20	東京	石川信克
34	34	東京	石田二郎	84	21	札幌	岸不盡彌
35	35	福岡	貝田勝美	85	22	京都	倉澤卓也
36	36	名古屋	日比野進	86	23	東京	中島由槻
37	37	京都	青柳安誠	87	24	広島	重藤えり子
38	38	大阪	堀三津夫	88	25	千葉	山岸文雄
39	39	東京	柳沢謙	89	26	岐阜	森下宗彦
40	40	仙台	中村隆	90	27	長崎	河野茂
41	41	札幌	高橋義夫	91	28	金沢	石崎武志
42	42	名古屋	岡田博	92	29	東京	斎藤武文
43	43	東京	岩崎龍郎	93	30	大阪	鈴木克洋
44	44	京都	内藤益一	94	2019年	大分	門田淳一
45	45	仙台	岡捨己	95	2020年	神奈川	藤田明
46	46	東京	北本治薫	96	2021年	名古屋	小川賢二
47	47	広島	占部薫	97	2022年	北海道	大崎能伸
48	48	福岡	武谷健二	98	2023年	東京	加藤誠也
49	49	東京	砂原茂一	99	2024年	長崎	迎寛
50	50	京都	安平公夫	100	2025年	東京	長谷川直樹

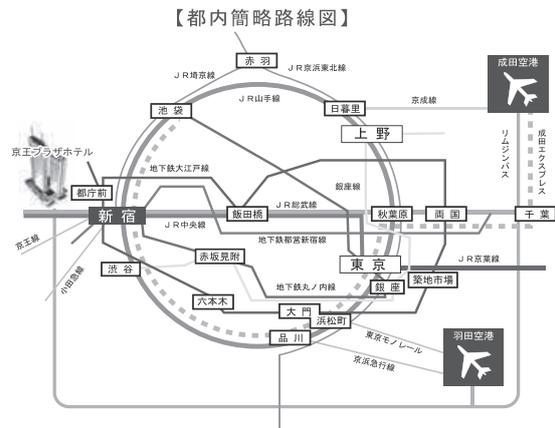
※第94回までは日本結核病学会として開催

交通案内

京王プラザホテル 〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1



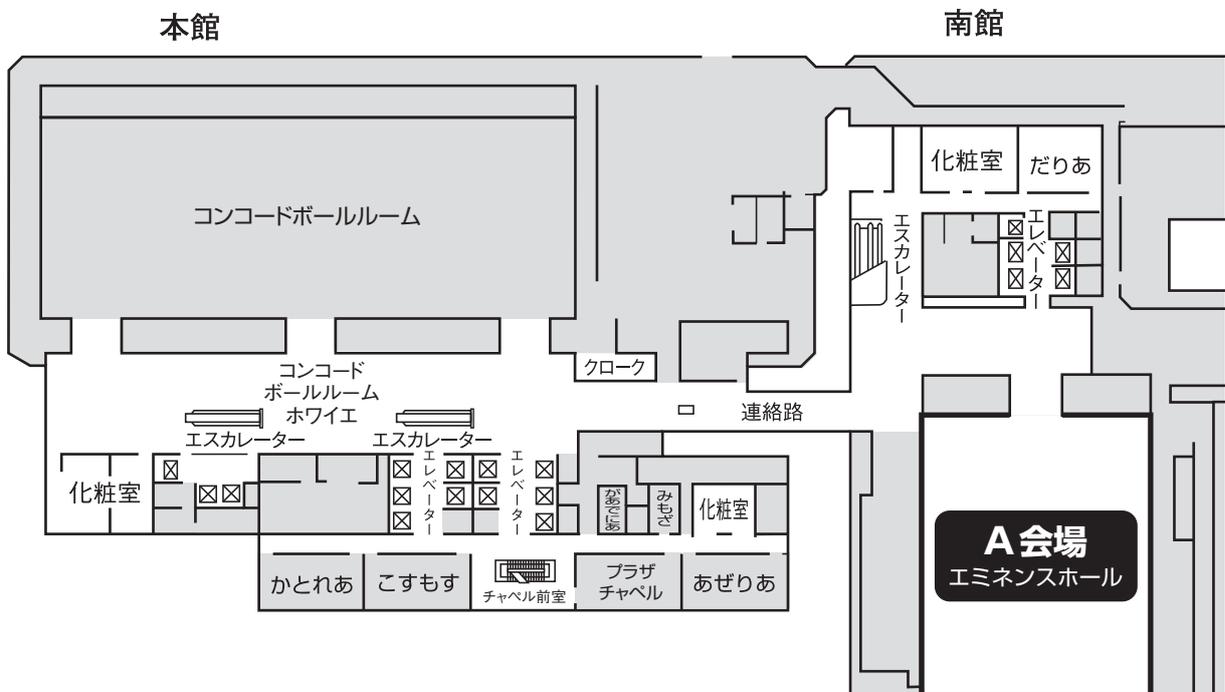
- **新宿駅西口より徒歩**
約5分（JR・京王線・小田急線・地下鉄）
新宿駅西口より都庁方面への連絡地下道をまっすぐ5分ほどお進みください。地下道を出てすぐ左側にホテルがございます。
- **都営大江戸線都庁前駅より徒歩**
地下道B1出口よりすぐ
改札を出てJR新宿駅方面に進み、B1出口階段を上がってすぐ右側にホテルがございます。
- **リムジンバス** 成田空港、羽田空港との直通リムジンバスがございます。



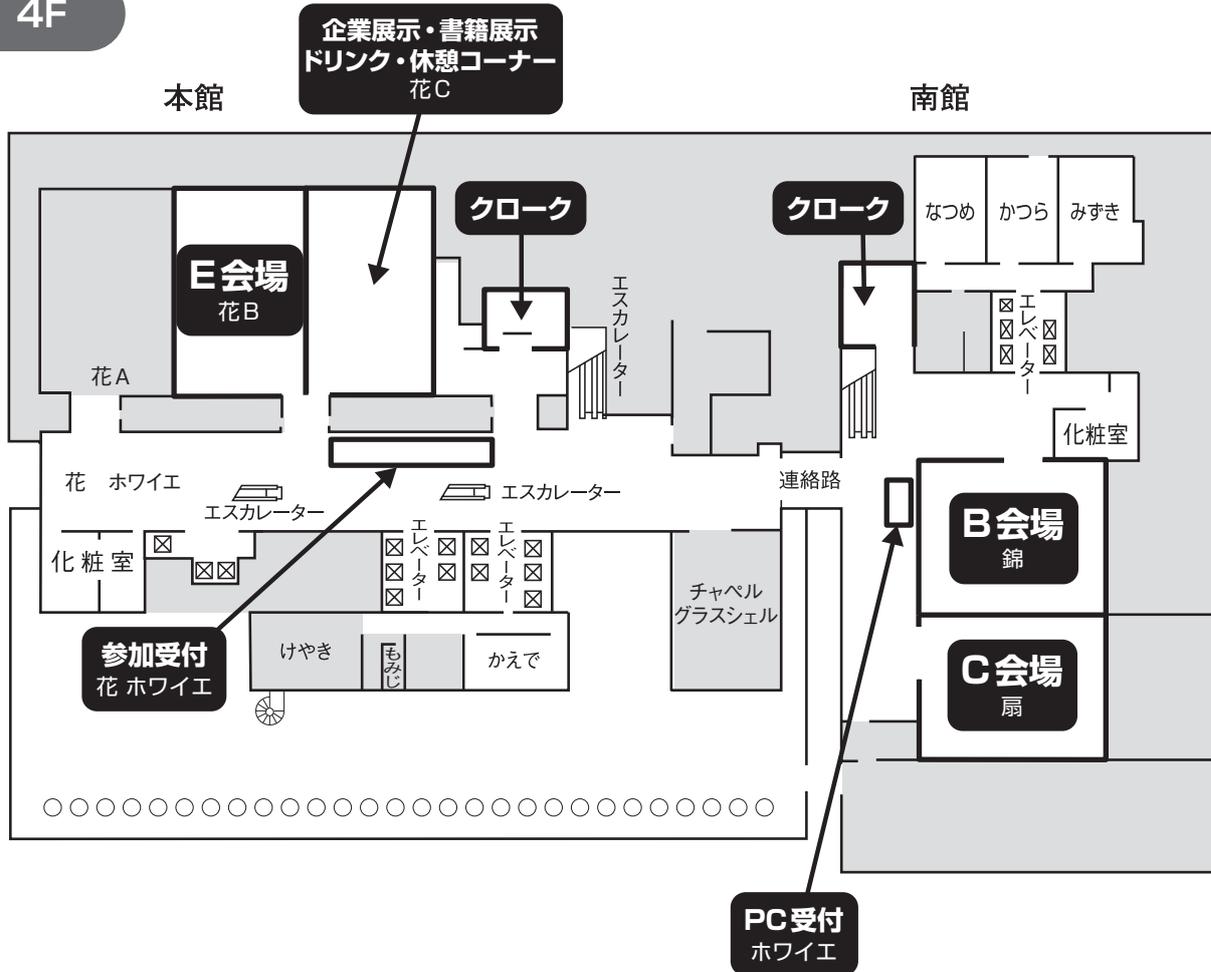
会場案内

京王プラザホテル		
会場	フロア	部屋名
A会場	南館 5F	エミネンスホール
B会場	南館 4F	錦
C会場	南館 4F	扇
D会場	南館 3F	グレースルーム
E会場	本館 4F	花B
企業展示・書籍展示	本館 4F	花C
参加受付	本館 4F	花 ホワイエ
PC 受付	南館 4F	ホワイエ
クローク	南館 4F	クローク
ドリンク・休憩コーナー	本館 4F	花C

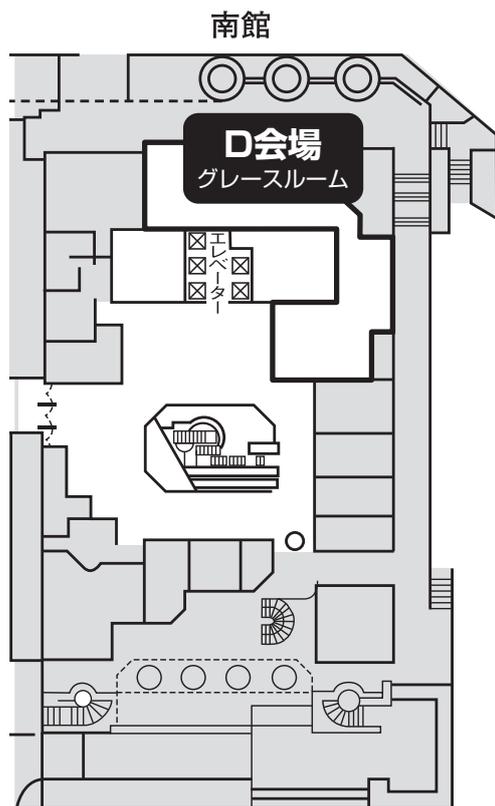
5F



4F



南館 3F



役員会日程

2023年6月9日（金）

京王プラザホテル

〒160-8330 東京都新宿区西新宿 2-2-1

	南館 4F
	扇（C会場）
14：40	理事会
16：00	
	南館 4F
	錦（B会場）
16：10	社員総会・学会賞授賞式
17：25	
	本館 4F
	かえで
13：30	第99回プログラム委員会
14：30	

※委員会

会場での開催はございません。

第 98 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会日程表

第 1 日目 2023 年 6 月 10 日 (土)

会場名	京王プラザホテル		
	A 会場 (南館 5 階 エミネンスホール)	B 会場 (南館 4 階 錦)	C 会場 (南館 4 階 扇)
8:30	8:20 開会の辞		
9:00	8:30 シンポジウム 1 (生涯教育セミナー) 我が国の結核対策の方向性 座長：磯部 威 加藤 誠也	8:30 シンポジウム 2 肺 MAC 症マネージメントの向上を目指して 座長：森本 耕三 南宮 湖	8:30 エキスパートセミナー 1 今後の抗酸菌検査 演者：高木 明子
9:30			9:00 エキスパートセミナー 2 結核の治療と副作用対策 演者：三木 誠
10:00			9:30 エキスパートセミナー 3 三次医療機関で経験する高齢者の結核 演者：青木 洋介
10:30			10:10 教育講演 1 抗酸菌検査のスタンダード 演者：伊藤 穰 座長：平井 豊博
11:00	10:40 招請講演 1 Toward TB Elimination—lesson and learnt from experience in the Europe (tentative) 演者：Ibrahim Abbakar 座長：加藤 誠也 (日本語字幕あり)	10:40 特別講演 1 病原性抗酸菌はマクロファージ内だけでなく、赤血球に接着して増殖する 演者：西内由紀子 座長：小川 賢二	11:00 教育講演 2 高齢者結核～課題と対策を考察する 演者：小宮 幸作 座長：佐藤 敦夫
12:00	11:50 ランチョンセミナー 1 肺非結核性抗酸菌症治療のマネージメント—肺 M.avium/intracellulare 症を中心に— 演者：佐々木結花 座長：迎 寛 共催：インスメッド合同会社	11:50 ランチョンセミナー 2 新型コロナ禍およびポストコロナでの結核菌群検出試薬 (TB-LAMP) を用いた海外での普及・啓発活動 演者：Eddie Samuneti Solo・Nkiru Nwokoye・下内 昭 座長：岡田 耕輔 共催：栄研化学株式会社	11:50 ランチョンセミナー 3 MDR をどう防ぐ?—リファンピシン・イソニアジド耐性遺伝子同時検出検査登場によって変わる診断の流れ— 演者：村田 研吾 座長：露口 一成 共催：ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
13:00	13:00 特別招請講演 やさしい日本語のすすめ		
14:00	13:40 特別講演 2 我が国における結核対策の進展と課題 演者：森 亨 座長：齋藤 武文		13:40 教育講演 3 結核・NTM の画像診断 演者：尾形 英雄 座長：菊地 利明
15:00	14:50	14:50	14:30 教育講演 4 肺抗酸菌症と慢性肺アスペルギルス症との関連 演者：迎 寛 座長：小川 賢二
16:00	15:30 シンポジウム 3 (生涯教育セミナー) 外国出生者対策の進展 座長：森野英里子 小向 潤	16:00 シンポジウム 4 ゲノムが拓く結核対策・医療の新世紀 座長：岩本 朋忠 御手洗 聡	15:20 教育講演 5 活動性結核治療の Update 演者：露口 一成 座長：佐々木結花
17:00	17:00 パネルディスカッション 世界の結核対策・研究の推進のために—日本の貢献— 演者：江副 聡 國井 修 宮野 真輔 川崎 昌則 磯部 威 岡田 耕輔 ファシリテーター：尾身 茂	17:00 シンポジウム 5 抗酸菌基礎研究のトピックス—基礎研究は面白い— 座長：松本 壮吉 藤田 昌樹	16:10 教育講演 6 肺 NTM 治療の Update (review) 演者：中川 拓 座長：鈴木 克洋
18:00			17:00 エキスパートセミナー 4 結核の積極的疫学調査 演者：阿彦 忠之
18:30			17:30 エキスパートセミナー 5 結核集団感染事例への対応 (東京都結核接触者健診マニュアル第四版より) 演者：杉下 由行
19:00			18:00 エキスパートセミナー 6 分子疫学調査の活用 (特にゲノム解析) 演者：瀬戸 順次
19:30			

第 98 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会日程表

第 2 日目 2023 年 6 月 11 日 (日)

会場名	京王プラザホテル		
	A 会場 (南館 5 階 エミネンスホール)	B 会場 (南館 4 階 錦)	C 会場 (南館 4 階 扇)
8:30	8:30 シンポジウム 6 結核対策・医療の今後 —COVID-19 パンデミックを経験して 座長：関 雅文 前田 秀雄	8:30 シンポジウム 7(生涯教育セミナー) non-MAC を含めた NTM 症の新展開 座長：御手洗 聡 伊藤 稔	8:30 エキスパートセミナー 7 結核の院内・施設内感染対策 演者：猪狩 英俊
9:00			9:00 エキスパートセミナー 8 外国出生者の対応 演者：座間 智子
9:30			9:30 エキスパートセミナー 9 ハンセン病の立場から結核を観る： 我が国における抗酸菌症の過去・現在・未来 演者：阿戸 学
10:00	10:10 会長講演 日本の結核対策の成果と根絶への道程 演者：加藤 誠也 座長：藤田 明		10:10 教育講演 8 小児結核診療・対策を守るために 演者：徳永 修 座長：宮川 知士
10:30			
11:00	10:50 招請講演 2 Global movement on innovative technology for TB control and medical care (tentative) 演者：Dennis Falzon 座長：小野崎郁史 (日本語字幕あり)	11:00 教育講演 7 米国における結核・NTM 医療の実際 演者：成田 昌弘 座長：齋藤 武文	11:00 教育講演 9 結核と紛争・移民・難民 演者：Clara Van Gulik ベヒシュタイン紗良 座長：石川 信克
11:30			
12:00	12:00 ランチョンセミナー 6 非結核性抗酸菌症診療と感受性試験 演者：中川 拓 座長：小川 賢三 共催：極東製薬工業株式会社	12:00 ランチョンセミナー 7 新しい結核診断 ～世界が求める非喀痰の迅速結核診断法 演者：御手洗 聡 座長：齋藤 武文 共催：富士フイルム株式会社	12:00 ランチョンセミナー 8 慢性気道感染症と排痰 ～気管支拡張症と肺 NTM 症を中心に～ 演者：朝倉 崇徳 髭谷 満 座長：森本 耕三 共催：インスメッド合同会社メディカルアフケアズ部
12:30			
13:00	13:10 シンポジウム 8(生涯教育セミナー) LTBI 治療のさらなる進展を目指して 座長：永井 英明 猪狩 英俊	13:10 シンポジウム 9 アジアにおける 結核・NTM 結核医療及び研究の進展 座長：長谷川直樹 大角 晃弘	13:10 教育講演 10 抗酸菌症の外科治療—肺非結核性抗酸菌症に 対する外科治療 Up To Date 演者：山田 勝雄 座長：白石 裕治
13:30			14:00 エキスパートセミナー 10 NTM 患者の QOL：栄養、リハビリ、緩和ケア 演者：門脇 徹
14:00			14:30 エキスパートセミナー 11 医療ソーシャルワーカーの役割 演者：小出 志保
14:30			15:00 エキスパートセミナー 12 禁煙支援は日本版 DOTS の重要な要素の一つ 演者：大嶋 圭子
15:00	15:10 閉会の辞		
15:30			
16:00	15:40 市民公開講座 日本の結核予防の礎(いしずえ)を創った人々 演者：小林 弘祐 渡邊光一郎 増田 國次 森 亨 山口 峯生 座長：工藤 翔二	15:40 ICD 講習会 バイオエアロゾルによる感染 (結核、NTM、COVID-19) 演者：牧 輝弥 御手洗 聡 山末 まり 清水 宣明 座長：御手洗 聡	
16:30			
17:00			
17:30			
18:00			
18:30			
19:00			
19:30			

第 98 回日本結核・非結核性抗酸菌症学会学術講演会目次

<特別招請講演>

やさしい日本語のすすめ

6月10日(土) 13:00~13:30 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

<招請講演>

1. Toward TB Elimination—lesson and learnt from experience in the Europe (tentative)

(University College London, Faculty of Population Health Sciences and Professor of Infectious Disease Epidemiology) **Ibrahim Abbakar**

6月10日(土) 10:40~11:40 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 加藤 誠也
(日本語字幕あり)

2. Global movement on innovative technology for TB control and medical care (tentative)

(Global TB Programme (GTB) World Health Organization Geneva, Switzerland) **Dennis Falzon**

6月11日(日) 10:50~11:50 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 小野崎 郁史
(日本語字幕あり)

<特別講演>

1. 病原性抗酸菌はマクロファージ内だけでなく、赤血球に接着して増殖する (57)

(広島大学 IDEC 国際連携機構環境遺伝生態学) **西内由紀子**

6月10日(土) 10:40~11:40 B会場(京王プラザホテル 南館4階 錦)

座長 (国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 小川 賢二

2. 我が国における結核対策の進展と課題 (公益財団法人結核予防会結核研究所) **森 亨** (58)

6月10日(土) 13:40~14:40 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

座長 (国立病院機構茨城東病院) 齋藤 武文

＜パネルディスカッション＞

世界の結核対策・研究の推進のために一日本の貢献―

6月10日(土) 17:00~18:30 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

ファシリテーター (公益財団法人結核予防会) 尾身 茂

- ポスト・コロナ時代のグローバルヘルスの課題について：結核対策を含む世界への貢献について …… (61)
 (外務省国際協力局国際保健戦略官室) 江副 聡
- 世界の結核対策と研究開発の加速化 …… (公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金) 國井 修 (61)
- グローバルファンドにおける技術審査パネル (TRP) 委員の活動 …… (62)
 (国立国際医療研究センター国際医療協力局) 宮野 真輔
- 民間企業による抗結核薬の開発と普及への取組み …… (62)
 (大塚製薬株式会社医薬品事業部抗結核プロジェクト) 川崎 昌則
- 日本結核・非結核性抗酸菌症学会の取組み …… (63)
 (島根大学医学部内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学/日本結核・非結核性抗酸菌症学会理事長)
 磯部 威
- 結核予防会の国際協力 …… (63)
 (公益財団法人結核予防会国際部/公益財団法人結核予防会結核研究所) ○岡田 耕輔、小野崎郁史
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 山田 紀男、石川 信克、森 亨

＜会 長 講 演＞

日本の結核対策の成果と根絶への道程 …… (公益財団法人結核予防会結核研究所) 加藤 誠也 (67)

6月11日(日) 10:10~10:40 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

座長 (東京都立病院機構東京都立多摩北部医療センター呼吸器内科) 藤 田 明

＜教 育 講 演＞

1. 抗酸菌検査のスタンダード …… (71)
 (名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学) 伊藤 穰

6月10日(土) 10:10~10:50 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)

座長 (京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学) 平 井 豊 博

2. 高齢者結核～課題と対策を考察する …… (大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 小宮 幸作 (71)

6月10日(土) 11:00~11:40 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)

座長 (国立病院機構南京都病院) 佐 藤 敦 夫

3. 結核・NTMの画像診断……………(公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器内科) 尾形 英雄 (72)

6月10日(土) 13:40~14:20 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(新潟大学大学院医歯学総合研究科呼吸器・感染症内科学分野) 菊地 利明

4. 肺抗酸菌症と慢性肺アスペルギルス症との関連……………(72)

(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野(第二内科)) 迎 寛

6月10日(土) 14:30~15:10 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 小川 賢二

5. 活動性結核治療のUpdate……………(73)

(国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター感染症研究部) 露口 一成

6月10日(土) 15:20~16:00 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(国立病院機構東京病院呼吸器センター) 佐々木 結花

6. 肺NTM治療のUpdate (review)……………(国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 中川 拓 (73)

6月10日(土) 16:10~16:50 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(一般財団法人京都予防医学センター) 鈴木 克洋

7. 米国における結核・NTM医療の実際……………(74)

(Department of Medicine, University of Washington, USA) 成田 昌弘

6月11日(日) 11:00~11:40 B会場(京王プラザホテル 南館4階 錦)
座長(国立病院機構茨城東病院) 齋藤 武文

8. 小児結核診療・対策を守るために……………(国立病院機構東京都病院小児科) 徳永 修 (74)

6月11日(日) 10:10~10:50 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(東京都立小児総合医療センター呼吸器科・結核科) 宮川 知士

9. 結核と紛争・移民・難民……………(75)

(Médecins Sans Frontières) Clara Van Gulik
(Médecins Sans Frontières Japon) ベヒシュタイン紗良

6月11日(日) 11:00~11:40 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(公益財団法人結核予防会結核研究所) 石川 信克

10. 抗酸菌症の外科治療—肺非結核性抗酸菌症に対する外科治療 Up To Date……………(75)

(国立病院機構東名古屋病院呼吸器外科) 山田 勝雄

6月11日(日) 13:10~13:50 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター呼吸器外科) 白石 裕治

＜シンポジウム＞

シンポジウム 1 (生涯教育セミナー)

我が国の結核対策の方向性

6月10日(土) 8:30～10:30 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

座長 (島根大学医学部内科学講座呼吸器・臨床腫瘍学) **磯部 威**
(公益財団法人結核予防会結核研究所) **加藤 誠也**

- S1-1 低まん延状況における結核対策(仮) ……………(厚生労働省健康局結核感染症課) 江浪 武志 (79)
- S1-2 患者発生動向の予測 ……………(公益財団法人結核予防会結核研究所臨床・疫学部) 内村 和広 (79)
- S1-3 低蔓延時代の結核研修のあり方～大分県結核医療体制強化事業を通して …………… (80)
(大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) ○小宮 幸作
(長崎みなとメディカルセンター/大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 門田 淳一
- S1-4 地域における相談支援事業 …………… (80)
(国立病院機構奈良医療センター) ○玉置 伸二、久下 隆、板東 千昌
芳野 詠子、田中小百合、熊本 牧子
小山 友里、中村 真弥、富田 大
- S1-5 我が国の結核対策の方向性、新技術導入の課題 …………… (81)
(公益財団法人結核予防会結核研究所/公益財団法人結核予防会複十字病院結核センター)
吉山 崇

シンポジウム 2

肺 MAC 症マネジメントの向上を目指して

6月10日(土) 8:30～10:30 B会場(京王プラザホテル 南館4階 錦)

座長 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) **森本 耕三**
(慶應義塾大学医学部感染症学教室) **南宮 湖**

- S2-1 日本の現状と国際ガイドラインの GAP …………… (81)
(北里大学薬学部臨床医学(生体制御学研究室)/北里大学北里研究所病院呼吸器内科) 朝倉 崇徳
- S2-2 週3回療法と2剤治療の使い方と課題 …………… (82)
(公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター呼吸器内科) 古内 浩司
- S2-3 アミノグリコシド系抗菌薬治療の現状と課題 …………… (82)
(公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院呼吸器内科) 伊藤 明広
- S2-4 難治性肺 MAC 症に対する気管支拡張症としてのマネジメント …………… (83)
(東邦大学医学部医学科内科学講座呼吸器内科学分野(大森)) ○ト部 尚久、坂本 晋、時田 望
岸 一馬
- S2-5 マクロライド耐性例・手術療法に関連する知識 …………… (83)
(大阪大学免疫学フロンティア研究センター/大阪大学呼吸器・免疫内科/大阪刀根山医療センター呼吸器内科)
福島 清春

シンポジウム3 (生涯教育セミナー)

外国出生者対策の進展

6月10日(土) 14:50~16:50 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

座長(国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) 森野 英里子
(大阪市保健所) 小 向 潤

- S3-1 入国前結核スクリーニング (84)
(公益財団法人結核予防会結核研究所臨床・疫学部) 大角 晃弘
- S3-2 保健所における対策 (84)
(大阪市保健所) ○津田 侑子、村田 奏子、浅野 瑞穂
高橋 峰子
(大阪市健康局) 小向 潤
(大手前大学) 松本 健二
- S3-3 外国出生者を発端とする結核集団発生 (85)
(公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部) 太田 正樹
- S3-4 入院医療における現状と課題 (85)
(国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) ○高崎 仁、森野英里子、橋本 理生
- S3-5 患者中心の支援.....(公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部保健看護学科) 座間 智子 (86)

シンポジウム4

ゲノムが拓く結核対策・医療の新世紀

6月10日(土) 14:50~16:50 B会場(京王プラザホテル 南館4階 錦)

座長(神戸健康科学研究所) 岩本 朋忠
(公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡

- S4-1 結核菌ゲノム情報の利活用～アウトブレイク対応、サーベイランス、そして個別医療への発展～ ... (86)
(国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター) 黒田 誠
- S4-2 結核菌ゲノム解析から見える感染動態 (87)
(神戸市健康科学研究所) ○岩本 朋忠
(神戸市健康科学研究所感染症部) 有川健太郎
- S4-3 伝播経路解明から疫学研究への転換を目指す結核菌ゲノミクス (87)
(大阪公立大学大学院生活科学研究科) 和田 崇之
- S4-4 ヒトゲノム解析による副作用予測.....(公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶長 直人 (88)
- S4-5 大規模ゲノムデータベースを活用した研究 (88)
(公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 村瀬 良朗

シンポジウム5

抗酸菌基礎研究のトピックス—基礎研究は面白い—

6月10日(土) 17:00~18:30 B会場(京王プラザホテル 南館4階 錦)

座長(新潟大学大学院医歯学総合研究科細菌学分野) 松本 壮吉
(福岡大学医学部呼吸器内科) 藤田 昌樹

- S5-1 バイオフィルム.....(新潟大学医学部細菌学) ○立石 善隆、松本 壮吉 (89)
- S5-2 細胞内寄生体の脂肪細胞への感染意義.....(福岡大学医学部微生物・免疫学講座) 栗原 悠介 (89)

- S5-3 空間的マルチオミックスによる肉芽腫構造の解析 …………… (90)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) ○瀬戸真太郎、土方美奈子
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶長 直人
- S5-4 肺 NTM 症の宿主因子について……………(筑波大学医学医療系呼吸器内科) 松山 政史 (90)

シンポジウム 6

結核対策・医療の今後—COVID-19 パンデミックを経験して

6月11日(日) 8:30~10:00 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

座長 (埼玉医科大学国際医療センター感染症科・感染制御科) 関 雅文

(公益財団法人結核予防会本部) 前田 秀雄

- S6-1 COVID-19 による結核疫学への影響 …………… (91)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) ○内村 和広、河津 里沙、吉江 歩
- S6-2 結核医療現場で何が起きたか……………(長野県立信州医療センター) 山崎 善隆 (91)
- S6-3 結核対策・医療の今後—COVID-19 パンデミックを経験して、結核医療提供の今後 …………… (92)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所/公益財団法人結核予防会複十字病院結核センター)
 吉山 崇
- S6-4 保健所における感染症危機時の結核対策……………(大阪府茨木保健所) 永井 仁美 (92)

シンポジウム 7 (生涯教育セミナー)

non-MAC を含めた NTM 症の新展開

6月11日(日) 8:30~10:30 B会場(京王プラザホテル 南館4階 錦)

座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡

(名古屋市立大学大学院医学研究科呼吸器・免疫アレルギー内科学) 伊藤 穰

- S7-1 non-MAC を含めた NTM の分離動向とサーベイランスシステム…………… (93)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所臨床・疫学部疫学情報センター) ○濱口 由子
 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部/公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター)
 森本 耕三
 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡
- S7-2 肺 *Mycobacterium abscessus* species 症は、現在でも Antibiotic nightmare なのか? …………… (93)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 小林 岳彦
- S7-3 培養困難菌を含む稀少抗酸菌種感染症 …………… (94)
 (がん・感染症センター都立駒込病院感染症科) 福島 一彰
- S7-4 NTM を中心とした宿主免疫応答についての最近の話題 …………… (94)
 (島根大学医学部地域医療支援学講座) ○佐野 千晶
 (安田女子大学現代心理学科) 富岡 治明
 (国際医療福祉大学薬学部薬学科) 多田納 豊

シンポジウム 8 (生涯教育セミナー)

LTBI 治療のさらなる進展を目指して

6月11日(日) 13:10~15:10 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

座長 (国立病院機構東京病院感染症科)

永井 英明

(千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科) 猪狩 英俊

- S8-1 小児に対する LTBI 治療適用判断……………(国立病院機構南京都病院小児科) 徳永 修 (95)
- S8-2 免疫低下者に対する LTBI の診断・治療…………… (95)
(東京都立多摩総合医療センター呼吸器・腫瘍内科) 高森 幹雄
- S8-3 接触者健診における LTBI 治療の課題—60 歳以上では、どの接触者に IGRA を実施すべきか?— … (96)
(大阪市健康局/西成区保健福祉センター) ○小向 潤
(大手前大学) 松本 健二
- S8-4 世界の LTBI 診断・治療…………… (96)
(公益財団法人結核予防会結核研究所) ○平尾 晋、太田 正樹、吉山 崇
- S8-5 発病予測バイオマーカーの開発…………… (97)
(公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) ○土方美奈子、瀬戸真太郎
(公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶長 直人

シンポジウム 9

アジアにおける結核・NTM 結核医療及び研究の進展

6月11日(日) 13:10~15:10 B会場(京王プラザホテル 南館4階 錦)

座長 (慶應義塾大学医学部感染症学教室)

長谷川 直樹

(公益財団法人結核予防会結核研究所臨床疫学部・入国前結核スクリーニング精度管理センター) 大角 晃弘

- S9-1 韓国における NTM 研究
(Department of Internal Medicine, Seoul National University College of Medicine, Korea) Jae-Joon Yim
- S9-2 台湾における LTBI 治療 (Taiwan CDC) Pei-Chun Chan
- S9-3 フィリピンにおける結核の診断・治療の進展
(Ministry of Health, Philippines) Jose Gerard Belimac
- S9-4 ベトナムにおける結核研究 (National Lung Hospital Vietnam) Nguyen Viet Nhung
- S9-5 中国における結核最新研究 (China CDC) Zao Yanglin

<エキスパートセミナー>

1. 今後の抗酸菌検査……………(公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部細菌科) 高木 明子 (101)

6月10日(土) 8:30~9:00 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)

座長 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 吉田 志緒美

2. 結核の治療と副作用対策 ……………(日本赤十字社仙台赤十字病院呼吸器内科) 三木 誠 (101)
- 6月10日(土) 9:00~9:30 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(国立病院機構西新潟中央病院呼吸器科) 桑原 克弘
3. 三次医療機関で経験する高齢者の結核……………(102)
- (佐賀大学医学部国際医療学講座臨床感染症学分野) 青木 洋介
- 6月10日(土) 9:30~10:00 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(名古屋大学大学院医学系研究科臨床感染統御学) 八木 哲也
4. 結核の積極的疫学調査 ……………(山形県健康福祉部) 阿彦 忠之 (102)
- 6月10日(土) 17:00~17:30 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(岩手県予防医学協会) 武内 健一
5. 結核集団感染事例への対応(東京都結核接触者健診マニュアル第四版より)……………(103)
- (東京都墨田区保健所) 杉下 由行
- 6月10日(土) 17:30~18:00 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(神戸市保健所) 藤山 理世
6. 分子疫学調査の活用(特にゲノム解析)……………(山形県衛生研究所微生物部) 瀬戸 順次 (103)
- 6月10日(土) 18:00~18:30 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(神戸健康科学研究所) 岩本 朋忠
7. 結核の院内・施設内感染対策……………(千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科) 猪狩 英俊 (104)
- 6月11日(日) 8:30~9:00 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(神戸大学医学部附属病院感染制御部) 宮良 高維
8. 外国出生者の対応……………(公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部保健看護学科) 座間 智子 (104)
- 6月11日(日) 9:00~9:30 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(国立病院機構東京病院呼吸器センター) 鈴木 純子
9. ハンセン病の立場から結核を観る:我が国における抗酸菌症の過去・現在・未来……………(105)
- (国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部) 阿戸 学
- 6月11日(日) 9:30~10:00 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)
座長(公益財団法人結核予防会結核研究所) 森 亨

10. NTM 患者の QOL : 栄養、リハビリ、緩和ケア…………… (105)
 (国立病院機構松江医療センター呼吸器内科・教育研修部) 門脇 徹

6月11日(日) 14:00~14:30 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)

座長 (長崎大学大学院医歯薬総合研究科医療科学専攻理学療法分野、長崎大学病院リハビリテーション部) 神 津 玲

11. 医療ソーシャルワーカーの役割 …(国立病院機構近畿中央呼吸器センター地域医療連携室) 小出 志保 (106)

6月11日(日) 14:30~15:00 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)

座長 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター看護部) 大 槻 登季子

12. 禁煙支援は日本版 DOTS の重要な要素の一つ……………(群馬大学医学部附属病院感染制御部) 大嶋 圭子 (106)

6月11日(日) 15:00~15:30 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)

座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部保健看護学科) 永 田 容 子

<ICD 講習会>

バイオエアロゾルによる感染(結核、NTM、COVID-19)

6月11日(日) 15:40~17:10 B会場(京王プラザホテル 南館4階 錦)

座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡

1. バイオエアロゾルによって運ばれる微生物が及ぼす生態・健康影響…………… (109)
 (近畿大学理工学部生命科学科) 牧 輝弥
2. 結核におけるバイオエアロゾル感染 ……………(公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 御手洗 聡 (109)
3. NTM におけるバイオエアロゾル感染の可能性 …………… (110)
 (大分大学医学部結核医療体制強化事業/大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 山末 まり
4. COVID-19 のエアロゾル感染対策の方法と実践 ……………(愛知県立大学看護学部看護学研究科) 清水 宣明 (110)

<ランチョンセミナー>

1. 肺非結核性抗酸菌症治療のマネジメントー肺 M.avium/intracellulare 症を中心にー

(国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) 佐々木結花

6月10日(土) 11:50~12:50 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)

座長 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野) 迎 寛

共催：インスメッド合同会社

2. 新型コロナ禍およびポストコロナでの結核菌群検出試薬（TB-LAMP）を用いた海外での普及・啓発活動

2-1. ザンビアからの報告

（University Teaching Hospital Zambia, Head of Tuberculosis laboratory）Eddie Samuneti Solo

2-2. ナイジェリアからの報告

（KNCV Tuberculosis Foundation Nigeria Director of Laboratory Services）Nkiru Nwokoye

2-3. ネパールからの報告

（公益財団法人結核予防会ネパール事務所/結核研究所）下内 昭

6月10日（土） 11:50～12:50 B会場（京王プラザホテル 南館4階 錦）

座長（公益財団法人結核予防会国際部）岡 田 耕 輔

共催：栄研化学株式会社

3. MDRをどう防ぐ？～リファンピシン・イソニアジド耐性遺伝子同時検出検査登場によって変わる診断の流れ～

（東京都立多摩総合医療センター救急・総合診療科）村田 研吾

6月10日（土） 11:50～12:50 C会場（京王プラザホテル 南館4階 扇）

座長（国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター感染症研究部）露 口 一成

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

4. BCGワクチンや結核菌抗原の魅力と次世代結核ワクチンの展望

（新潟大学医歯学総合研究科細菌学分野）松本 壮吉

6月10日（土） 11:50～12:50 D会場（京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム）

座長（公益財団法人結核予防会結核研究所）慶 長 直 人

共催：日本ビーシージー製造株式会社

5. 薬剤耐性結核（抗酸菌）アップデート（公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部）御手洗 聡

6月10日（土） 11:50～12:50 E会場（京王プラザホテル 本館4階 花B）

座長（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科病態解析・診断学分野）柳 原 克 紀

共催：ベックマン・コールター株式会社

6. 非結核性抗酸菌症診療と感受性試験（国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科）中川 拓

6月11日（日） 12:00～13:00 A会場（京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール）

座長（国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科）小 川 賢 二

共催：極東製薬工業株式会社

7. 新しい結核診断～世界が求める非喀痰の迅速結核診断法

(公益財団法人結核予防会結核研究所) 御手洗 聡

6月11日(日) 12:00～13:00 B会場(京王プラザホテル 南館4階 錦)

座長(国立病院機構茨城東病院) 齋藤 武文

共催: 富士フィルム株式会社

8. 慢性気道感染症と排痰～気管支拡張症と肺NTM症を中心に～

8-1. 気管支拡張症・肺NTM症における慢性下気道感染

(北里大学薬学部臨床医学(生体制御学)) 朝倉 崇徳

8-2. 呼吸器疾患における気道クリアランスの重要性—気管支拡張症と肺NTM症を中心に—

(公益財団法人結核予防会複十字病院リハビリテーション科) 髻谷 満

6月11日(日) 12:00～13:00 C会場(京王プラザホテル 南館4階 扇)

座長(公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) 森本 耕三

共催: インスメッド合同会社メディカルアフケアーズ部

9. 多剤耐性肺結核の診断と治療～新しい治療戦略から考える現状と課題～

(国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) 高崎 仁

6月11日(日) 12:00～13:00 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)

座長(国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター感染症研究部) 露口 一成

共催: ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフケアーズ本部

10. LTBIスクリーニングの最新の知見—免疫不全を伴う高リスク症例におけるLTBI診療の現状と課題—

(横浜市立大学大学院医学研究科呼吸器病学) 小林 信明

6月11日(日) 12:00～13:00 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)

座長(慶應義塾大学医学部感染症学教室) 長谷川 直樹

共催: オックスフォード・イムノテック株式会社

<イブニングセミナー>

NTM を含む慢性下気道感染の原因となる線毛機能不全症候群—診療の手引きと難病認定を中心に—
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター・臨床医学研究科) 森本 耕三

6月10日(土) 17:00~18:00 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)
 座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶 長 直 人

共催: 東ソー株式会社

<市民公開講座>

日本の結核予防の礎(いしずえ)を創った人々

6月11日(日) 15:40~17:40 A会場(京王プラザホテル 南館5階 エミネンスホール)
 座長 (公益財団法人結核予防会) 工 藤 翔 二

1. R. コッホに学び結核予防協会、日本結核病学会を創設された 北里柴三郎先生
 (学校法人北里研究所) 小林 弘祐
2. 結核予防協会を創設し、結核予防会の発足に尽力された第一生命創業者 矢野恒太氏
 (第一生命保険株式会社) 渡邊光一郎
3. 日本で初めてBCGワクチン接種を行い、全国に先駆け検診車を導入された 今村荒男先生と「今村賞」
 (一般財団法人大阪府結核予防会) 増田 國次
4. エックス線検査による結核診断の道を開かれた結核病理学の泰斗 岡 治道先生
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 森 亨
5. 結核予防会創設以来55年にわたって総裁を務められた 秩父宮妃勢津子殿下
 (元秩父宮付宮務官) 山口 峯生

<要 望 課 題>

多剤耐性結核

6月10日(土) 8:30~9:10 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)
 座長 (国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) 森 野 英里子

- R1-1 本邦の外国人結核・多剤耐性結核に対する調査研究(3) (113)
 (近畿中央呼吸器センター) ○喜多 洋子、露口 一成、岡田 全司
 (茨城東病院) 齋藤 武文
 (大阪市西成区保健福祉センター) 下内 昭
 (神戸市健康局) 藤山 理世
 (京都予防医学センター) 鈴木 克洋

- R1-2 結核療法研究協議会における多剤耐性結核菌の薬剤感受性…………… (113)
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部) ○近松 絹代、青野 昭男、五十嵐ゆり子
 高木 明子
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部/結核療法研究協議会) 御手洗 聡
 (結核予防会結核研究所/結核療法研究協議会) 加藤 誠也
 (結核療法研究協議会) 永井 英明
- R1-3 気管支洗浄で判明した多剤耐性結核の1例…………… (113)
 (国立病院機構三重中央医療センター) ○垂見 啓俊、辻 愛士、坂倉 康正
 西村 正、内藤 雅大、井端 英憲
 大本 恭裕
 (三重大学医学部附属病院) 岩中 宗一、藤本 源、小林 哲
- R1-4 中国における多剤耐性結核医療アクセスの現状と課題：中国出生結核患者の帰国時の治療継続支援の観点から…………… (113)
 (結核予防会結核研究所臨床疫学部) ○李 祥任、河津 里沙、大角 晃弘
 (結核研究所臨床疫学部 Bridge TB Care Project) 土居 健市
- R1-5 本邦の多剤耐性肺結核患者に対するベダキリンの特定使用成績調査中間報告…………… (114)
 (ヤンセンファーマ株式会社) ○中谷 真子、山岡 俊夫、藤間 時子
 齊藤 淳、土屋 裕章、神島 愛未

新規治療および有害事象

6月10日(土) 9:20~10:00 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)
 座長 (公益財団法人結核予防会複十字病院) 奥村 昌夫

- R2-1 薬剤耐性結核および非結核性抗酸菌症に対する治療薬開発…………… (114)
 ((公財) 結核予防会結核研究所抗酸菌部/名古屋市立大学大学院薬学研究科) ○瀧井 猛将
 (岡山大学学術研究院医歯薬総合学域) 大原 直也
- R2-2 アリケイスによる嘎声の軽減策の検討…………… (114)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター/国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科)
 ○倉原 優、橘 和延
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 小林 岳彦、露口 一成
- R2-3 難治性・多剤耐性肺結核に対する新しい治療 DNA ワクチンの第1相医師主導治験研究…………… (114)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) ○岡田 全司、喜多 洋子、井上 義一
 露口 一成
 (国立病院機構東京病院) 山根 章
 (国立病院機構茨城東病院) 齋藤 武文
- R2-4 クロファジミンによる薬剤性QTc延長症候群について…………… (115)
 (明治薬科大学薬物動態学研究室/公益財団法人結核予防会複十字病院薬剤部) ○渡辺 史也
 (公益財団法人結核予防会複十字病院薬剤部) 花田 和彦
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) 古内 浩司、藤原 啓司、上杉夫彌子
 吉山 崇、伊藤 優志、倉島 篤行
 大田 健
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター/公益財団法人結核予防会複十字病院臨床医学研究科)
 森本 耕三

- R2-5 潜在性結核に対する新規潜在性結核診断法開発研究…………… (115)
 (近畿中央呼吸器センター) ○岡田 全司、喜多 洋子、露口 一成
 井上 義一
 (茨城東病院) 齋藤 武文
 (東京病院) 山根 章
 (大阪複十字病院) 松本 智成

外国出生者結核への対応

6月10日(土) 11:00~11:40 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)

座長 (大阪市保健所) 小 向 潤

- R3-1 外国出生者を対象とする国内結核健診のあり方の検討…………… (115)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所臨床・疫学部) ○大角 晃弘、河津 里沙、李 祥任
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 加藤 誠也
- R3-2 結核医療国際連携支援 (Bridge TB Care) と結核登録者情報システムの治療成績に関するマッチング・スタディ…………… (115)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所入国前結核スクリーニング精度管理センター)
 ○河津 里沙、大角 晃弘、李 祥任
 吉江 歩、内村 和広
- R3-3 大阪市外国人結核対策検討ワーキング会議における取組みについて…………… (116)
 (大阪市保健所感染症対策課) ○浅野 瑞穂、高橋 峰子、村田 奏子
 津田 侑子、井村 元気
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 李 祥任
- R3-4 出国する超過滞在外国出生結核患者への治療継続支援の取り組み：多職種・多機関連携の事例…………… (116)
 (結核予防会結核研究所臨床疫学部) ○李 祥任、大角 晃弘
 (名古屋市保健所港保健センター保健予防課) 庄田 佳子
 (港区みなと保健所保健予防課) 西野 杏純
 (国保旭中央病院呼吸器内科) 本田 亮一
 (大阪市保健所感染症対策課) 浅野 瑞穂
 (愛知県清須保健所健康支援課) 上田あさ子
- R3-5 呼吸器外来における外国人結核患者の服薬支援…………… (116)
 (公益法人結核予防会総合健診推進センター) ○木下 知世、栗津 真麗、田川 斉之
 中西 好子
 (公益法人結核予防会結核研究所) 高柳喜代子、永田 容子

 真菌症の診断と治療

6月10日(土) 11:00~11:40 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)

座長 (国立病院機構東名古屋病院呼吸器内科) 林 悠太

- R4-1 非結核性抗酸菌と *A. fumigatus* との相互作用解析 (116)
 (長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学) ○高園 貴弘
 (長崎大学病院呼吸器内科) 伊藤 裕也、武田 和明、岩永 直樹
 迎 寛
 (長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学病院感染制御教育センター) 芦澤 信之
 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科薬学治療分野) 平山 達朗
 (長崎大学病院感染制御教育センター) 田代 将人
 (長崎大学病院臨床研究センター) 細萱 直希
 (長崎大学病院検査部) 柳原 克紀
 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学/長崎大学病院感染制御教育センター)
 泉川 公一
- R4-2 アスペルギルス症合併肺非結核性抗酸菌症例の検討 (117)
 (国立病院機構東京病院) ○鈴木 純子、井上 恵理、小田島丘人
 成本 治、島田 昌裕、守尾 嘉晃
 佐々木結花、山根 章、田村 厚久
 永井 英明、松井 弘稔
- R4-3 肺アスペルギローマの術前診断について (117)
 (国立病院機構神奈川病院呼吸器外科) ○杉浦八十生、橋詰 寿律
 (国立病院機構神奈川病院呼吸器内科) 中村 守男、大久保泰之、布施川久恵
- R4-4 肺アスペルギルス症を合併した肺非結核性抗酸菌症の検討 (117)
 (神戸市立医療センター西市民病院呼吸器内科) ○瀧口 純司、金子 正博、藤井 宏
 富岡 洋海
- R4-5 画像経過で定着と鑑別し得た *Exophiala dermatitidis* による黒色真菌症の1例 (117)
 (島根大学医学部内科学講座) ○濱口 愛、河野 謙人、吉原 健
 田中 聖子、小林 美郷、奥野 峰苗
 天野 芳宏、中尾 美香、沖本 民生
 津端由佳里、磯部 威
 (島根大学医学部総合医療学講座) 濱口 俊一

 院内感染対策

6月10日(土) 13:40~14:20 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)

座長 (名古屋市立大学大学院医学研究科臨床感染制御学) 中村 敦

- R5-1 *Clostridioides difficile* 感染症合併結核患者におけるリファンピシン再投与…………… (118)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター/
 国立病院機構近畿中央呼吸器センター感染制御チーム/国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科)
 ○倉原 優、露口 一成
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター感染制御チーム) 大槻登季子、嶋谷 泰明
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 小林 岳彦
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター/国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科)
 橋 和延
- R5-2 結核病棟における *Clostridioides difficile* 感染症の罹患率…………… (118)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター/
 国立病院機構近畿中央呼吸器センター感染制御チーム/国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科)
 ○倉原 優、露口 一成
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター感染制御チーム) 大槻登季子、嶋谷 泰明
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 小林 岳彦
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター/国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科)
 橋 和延
- R5-3 *Mycobacterium llatzerense* による菌血症の2症例と血液内科病棟における感染対策…………… (118)
 (浜松医科大学医学部附属病院検査部/浜松医科大学医学部附属病院感染対策室) ○古橋 一樹、名倉 理教、前川 真人
 (浜松医科大学医学部附属病院検査部) 出下 竜大
 (浜松医科大学医学部附属病院血液内科) 高塚 生吹、竹村 兼成、永田 泰之
 小野 孝明
- R5-4 重症心身障害児施設における *M. abscessus* subsp. *massiliense* の院内感染事例…………… (118)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) ○吉田志緒美、露口 一成、井上 義一
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 青野 昭男、五十嵐ゆり子、御手洗 聡
 (大阪大学微生物病研究所) 松本 悠希、中村 昇太
 (酪農学園大学) 能田 淳
- R5-5 結核感染対策における研修医教育の効果…………… (119)
 (東邦大学医療センター大橋病院院内感染対策室/東邦大学医療センター大橋病院脳神経外科/
 東邦大学医療センター大橋病院臨床検査部/東邦大学医療センター大橋病院教育支援管理部)
 中山 晴雄

 結核診療と COVID-19

6月11日(日) 10:10~10:50 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)

座長 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系専攻臨床感染症学分野) 泉川 公一

- R6-1 当院結核病棟入院患者における COVID-19 新規集団発生3例の経験…………… (119)
 (医療法人(財団)喜望会谷向病院) ○坪田 典之、谷向 茂厚

- R6-2 結核合併 COVID-19 の臨床的検討…………… (119)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター/国立病院機構近畿中央呼吸器センター感染制御チーム)
 ○倉原 優、露口 一成
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター感染制御チーム) 大槻登季子、嶋谷 泰明
- R6-3 COVID-19 肺炎と肺結核が同時発見されレムデシビル投与が有効であった 1 例…………… (119)
 (独立行政法人国立病院機構東埼玉病院呼吸器科) ○諸井 文子、廣瀬 友城、堀場 昌英
 (臨床検査科) 芳賀 孝之
- R6-4 COVID-19 流行前後における当院の結核入院患者の検討…………… (120)
 (日本赤十字社長崎原爆諫早病院) ○田中 康大、小田 淑恵、森山 咲子
 永吉 洋介、金子 祐子、久保 亨
 福島喜代康
 (長崎大学病院呼吸器内科) 高園 貴弘、迎 寛
- R6-5 新型コロナウイルス感染症が、東京都内結核患者収容モデル事業病床を有する医療機関の結核診療に与えた影響…………… (120)
 (日本医科大学付属病院医療安全管理部感染制御室/日本医科大学付属病院呼吸器内科)
 ○藤田 和恵
 (日本医科大学付属病院医療安全管理部感染制御室/日本医科大学付属病院薬剤部) 中村翔太郎
 (日本医科大学付属病院呼吸器内科) 弦間 昭彦

外国出生者結核の現状

- 6 月 11 日 (日) 11:00~11:48 D 会場 (京王プラザホテル 南館 3 階 グレースルーム)
- 座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所臨床疫学部・入国前結核スクリーニング精度管理センター) **大角 晃 弘**
- R7-1 当院における外国人結核の現状…………… (120)
 (結核予防会複十字病院呼吸器内科) ○奥村 昌夫、児玉 達哉、上杉夫彌子
 大澤 武司、下田 真史、吉山 崇
 大田 健
- R7-2 大阪市における結核分子疫学を用いた外国生まれ結核患者の特徴の分析…………… (120)
 (大阪健康安全基盤研究所微生物部) ○山本 香織
 (大阪市保健所) 津田 侑子、浅野 瑞穂、橋本 美穂
 (大阪公立大学大学院生活科学研究科) 和田 崇之
 ((公財) 結核予防会ネパール事務所) 下内 昭
- R7-3 当院における薬剤師による外国籍結核患者に対する DOTS 支援…………… (121)
 (山形県立中央病院薬剤部) ○大熊 良和
 (山形県立中央病院感染症内科) 阿部 修一
- R7-4 神戸市で検出された外国生まれ結核患者由来株の分子疫学解析…………… (121)
 (神戸市健康科学研究所感染症部) ○有川健太郎、岩本 朋忠
 (神戸市保健所) 藤山 理世

- R7-5 社会調整に苦慮した外国出生結核患者の一例…………… (121)
 (国立国際医療研究センター病院呼吸器内科/
 国立国際医療研究センター病院国際診療部/結核研究所臨床疫学部/埼玉県鴻巣保健所)
 ○橋本 理生
 (国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) 堀川有理子、高崎 仁、草場 勇作
 勝野 貴史、辻本 佳恵、石井 聡
 森野英里子、鈴木 学、仲 剛
 飯倉 元保、泉 信有、放生 雅章
 杉山 温人
 (国立国際医療研究センター病院国際診療部) 小山内泰代
 (結核研究所臨床疫学部) 李 祥任、大角 晃弘
 (埼玉県鴻巣保健所) 大澤 康、丸山 聡美
- R7-6 在日ネパール人結核患者の文化・風習の違いがもたらす治療・療養中の課題…………… (121)
 (日本体育大学) ○金田 英子
 (結核研究所対策支援部) 永田 容子

アミカシンリポソーム吸入治療

6月11日(日) 11:00~11:40 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)

座長 (琉球大学大学院医学研究科) **金城 武士**

- R8-1 難治性肺 *Mycobacterium avium* complex 症に対するアミカシンリポソーム吸入用懸濁液導入6ヶ月後の治療効果の検討…………… (122)
 (東邦大学医療センター大森病院呼吸器内科) ○ト部 尚久、坂本 晋、時田 望
 岸 一馬
- R8-2 アリケイ素調剤薬局97施設へのアンケート調査…………… (122)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター/国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科)
 ○倉原 優、橘 和延
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 小林 岳彦、露口 一成
- R8-3 肺 *Mycobacterium avium/intracellulare* (MAI) 症へのアミカシンリポソーム吸入懸濁液(ALIS)導入後長期評価…………… (122)
 (慶應義塾大学医学部呼吸器内科) ○森田 篤帆、八木 一馬、朝倉 崇徳
 田中 拓、阿瀬川周平、中川原賢亮
 加治 正憲、長尾 元太、鎌田 浩史
 福永 興壹
 (同感染症学教室) 南宮 湖、長谷川直樹
 (同耳鼻咽喉科) 細谷 誠、小澤 宏之
 (同感染症学教室/同臨床検査医学教室) 上菘 義典
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部) 青野 昭男、御手洗 聡
- R8-4 難治性肺非結核性抗酸菌症に対して、クリニカルパスを使用してアミカシンリポソーム吸入用懸濁液治療導入した8例…………… (122)
 (岡山県健康づくり財団附属病院) ○西井 研治、玉置 明彦、朝倉里都子

- R8-5 難治性肺 MAC 症に対するアミカシンリポソーム吸入懸濁液治療例の検討…………… (123)
 (産業医科大学医学部呼吸器内科学) ○船田 碧、根本 一樹、山崎 啓
 矢寺 和博
 (産業医科大学病院感染制御部) 赤田憲太郎

結核対策と COVID-19

6月11日(日) 13:10~13:50 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)
 座長 (名古屋大学医学部附属病院呼吸器内科) 進 藤 有一郎

- R9-1 COVID-19の結核治療成績に与えた影響に関する検討…………… (123)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所入国前結核スクリーニング精度管理センター) ○吉江 歩、河津 里沙
 (公益財団法人結核予防会結核研究所臨床・疫学部) 内村 和広
- R9-2 結核病棟における COVID-19 クラスターの経験…………… (123)
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター/国立病院機構近畿中央呼吸器センター感染制御チーム)
 ○倉原 優、露口 一成
 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター感染制御チーム) 大槻登季子、嶋谷 泰明
- R9-3 新型コロナウイルス感染症の結核患者への影響について…………… (123)
 (神戸市保健所) ○藤山 理世、楠 信也
 (健康科学研究所) 有川健太郎、岩本 朋忠
- R9-4 感染症パンデミックに備える—結核で培った感染拡大を防衛する効果的対策技術に関する研究—… (124)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所/公益財団法人結核予防会) ○座間 智子
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 太田 正樹、平尾 晋、浦川美奈子
 永田 容子
 (公益財団法人結核予防会) 星野 豊
- R9-5 新型コロナウイルス感染症が特定機能病院の結核接触者健診に与えた影響に関する検討…………… (124)
 (日本医科大学付属病院医療安全管理部感染制御室/日本医科大学付属病院薬剤部) ○中村翔太郎
 (日本医科大学付属病院医療安全管理部感染制御室/日本医科大学付属病院呼吸器内科) 藤田 和恵
 (日本医科大学付属病院呼吸器内科) 弦間 昭彦

<一般演題>

NTM と合併症

6月10日(土) 8:30~9:10 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)
 座長 (総合南東北病院) 長 谷 衣佐乃

- 1-1 アレルギー性気管支肺真菌症患者における非結核性抗酸菌症合併例の検討…………… (127)
 (国家公務員共済組合連合会吉島病院呼吸器内科) ○尾下 豪人、緒方 美里、井上亜沙美
 佐野 由佳、吉岡 宏治、池上 靖彦
 山岡 直樹

- 1-2 食道アカシアを合併した肺 *Mycobacterium fortuitum* 症の1例…………… (127)
 (国立病院機構三重中央医療センター呼吸器内科) ○坂倉 康正、垂見 啓俊、辻 愛士
 西村 正、内藤 雅大、井端 英憲
 大本 恭裕
 (三重大学医学部附属病院呼吸器内科) 岩中 宗一、藤本 源、小林 哲
- 1-3 非結核性抗酸菌症 (NTM) の嚢胞内感染を契機とした巨大肺嚢胞の自然退縮—case report & review
 …………… (127)
 (琉球大学病院総合臨床研修・教育センター) ○原永 修作
 (琉球大学大学院感染症・呼吸器・消化器内科学講座) 山城 朋子、鍋谷大二郎、金城 武士
 宮城 一也、山本 和子
- 1-4 *M.intarcellurare* との関連が示唆された膜性腎症の一例 …………… (127)
 (大分県立病院呼吸器内科) ○安東 優、菅 貴将、山谷いずみ
 表 絵里香
 (大分県立病院医療安全管理部) 山崎 透
 (大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 平松 和史
- 1-5 腸管気腫症を合併した肺非結核性抗酸菌症 11 例の検討 …………… (128)
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター) ○川島 正裕、佐々木結花、中村 澄江
 武田 啓太、佐藤 亮太、島田 昌裕
 成本 治、鈴木 純子、大島 信治
 守尾 嘉晃、山根 章、田村 厚久
 永井 英明、松井 弘稔

結核患者支援

6月10日(土) 9:20~10:00 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)

座長 (太成学院大学看護学部) 有馬 和代

- 2-1 当院における活動性肺結核患者の抑うつ評価と臨床経過に関する検討…………… (128)
 (国立病院機構大牟田病院呼吸器内科) ○野田 直孝、長岡 愛子、原 真紀子
 大塚 淳司、若松謙太郎、川崎 雅之
- 2-2 診断エラー学からみた塗抹陽性肺結核診断の遅れの検討…………… (128)
 (大阪市保健所感染症対策課) ○康 史朗、安田 有伽、金 鈴香
 津田 侑子、井村 元気、高橋 峰子
 (大阪市健康局) 小向 潤、植田 英也、吉田 英樹
- 2-3 患者中心の結核療養支援を DX 推進の流れにおいて実現するための課題と対応～質問紙調査の結果から～
 …………… (128)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 浦川美奈子
- 2-4 コロナ禍における DOTS 会議のあり方 …………… (129)
 (結核予防会複十字病院看護部結核病棟) ○三崎 恭子、吉垣ゆかり、井上恵美子
 三浦 瑞枝
- 2-5 喀痰塗抹陽性肺結核外国出生患者の治療の理解と受容について…………… (129)
 (結核研究所対策支援部) ○永田 容子、座間 智子
 (日本体育大学スポーツ文化学部) 金田 英子

結核の病態と関連因子

6月10日(土) 10:10~10:50 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)

座長(山形県衛生研究所微生物部) 瀬戸 順次

- 3-1 治療開始前脱落に関する調査研究, ルサカ, ザンビア, 2020…………… (129)
 ((公財)結核予防会結核研究所) ○太田 正樹
 ((公財)結核予防会結核研究所/(公財)結核予防会国際部) 松岡 裕子
 ((公財)結核予防会結核研究所/(公財)結核予防会国際部/RIT JATA Zambia, INC) 平尾 晋
- 3-2 当院における結核患者の予後予測因子に関する検討…………… (129)
 (独立行政法人国立病院機構愛媛医療センター呼吸器内科) ○仙波真由子、三好 誠吾、田邊美由紀
 佐藤 千賀、渡邊 彰、伊東 亮治
 阿部 聖裕
- 3-3 結核感受性に関与する転写因子 MafB による結核肉芽腫形成の制御…………… (130)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科基礎抗酸菌症学)
 ○引地 遥香
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) 中村 創、大森 志保、瀬戸真太郎
 土方美奈子
 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科基礎抗酸菌症学/公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶長 直人
- 3-4 アジア人集団における結核感染・発病に関連する宿主 MAFB 遺伝子領域周辺バリエーションの解析 … (130)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) ○牛島 紗季、若林 佳子、宮林亜希子
 土方美奈子、引地 遥香、瀬戸真太郎
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶長 直人
- 3-5 活動性結核における好中球リンパ球比の意義…………… (130)
 (横浜市立大学大学院医学研究科呼吸器病学) ○小林 信明、村岡 傑、金子 恵
 井澤 亜美、神卷 千聡、田中 克志
 田上 陽一、室橋 光太、青木 絢子
 渡邊 恵介、堀田 信之、原 悠
 金子 猛

NTM 症の診断と治療、病態関連因子

6月10日(土) 10:10~10:50 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)

座長(国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) 塩沢 綾子

- 4-1 排菌陰性肺 MAC 症患者の臨床的進行に関する因子の検討…………… (130)
 (国立病院機構茨城東病院呼吸器内科) ○野中 水、平野 瞳、荒井 直樹
 兵頭健太郎、金澤 潤、林原 賢治
 石井 幸雄、大石 修司、齋藤 武文
 (筑波大学医学医療系呼吸器内科) 松山 政史、檜澤 伸之
 (国立病院機構茨城東病院臨床研究部) 薄井 真悟
- 4-2 抗酸菌症専門外来一呼吸器内科医からの非結核性抗酸菌症関連紹介症例の検討…………… (131)
 (独立行政法人国立病院機構天竜病院呼吸器・アレルギー科) ○中村祐太郎、藤坂 由佳、金井 美穂
 大場 久乃、藤田 薫、伊藤 靖弘
 大嶋 智子、永福 建、白井 正浩

- 4-3 肺 *Mycobacterium avium* complex 症における MAC 抗体値推移の臨床的意義の検討 …………… (131)
 (東邦大学医学部医学科内科学講座呼吸器内科学分野 (大森)) ○時田 望、卜部 尚久、坂本 晋
 白井 優介、清水 宏繁、関谷 宗之
 三好 嗣臣、仲村 泰彦、磯部 和順
 高井雄二郎、岸 一馬
- 4-4 肺非結核性抗酸菌症患者に対する薬物療法と呼吸リハビリテーション併用治療：治療反応者の特徴
 …………… (131)
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸ケアリハビリセンター/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)
 ○川原 一馬
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸ケアリハビリセンター) 髻谷 満
 (びわこリハビリテーション専門職大学リハビリテーション学部) 千住 秀明
- 4-5 喀痰の性状と非結核性抗酸菌検出率の関連性 …(飯塚病院呼吸器内科) ○花香未奈子、飛野 和則 (131)

M.abscessus 症

6月10日(土) 13:40~14:20 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)

座長 (亀田総合病院呼吸器内科) 中 島 啓

- 5-1 *Mycobacterium abscessus* 株に対するオマダサイクリンと他の抗菌薬との *in vitro* での相乗効果… (132)
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部/結核予防会複十字病院呼吸器センター) ○藤原 啓司
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部) 青野 昭男、浅見 貴弘、森重 雄太
 五十嵐ゆり子、近松 絹代、村瀬 良朗
 山田 博之、高木 明子、御手洗 聡
 (結核予防会複十字病院呼吸器センター) 森本 耕三
- 5-2 肺に病変を認めない *Mycobacterium abscessus* subsp *abscessus* による咽頭炎の一例…………… (132)
 (慶應義塾大学呼吸器内科) ○加治 正憲、長尾 元太、阿瀬川周平
 中川原賢亮、田中 拓、森田 篤帆
 朝倉 崇徳、鎌田 浩史、福永 興壱
 (慶應義塾大学感染症科) 南宮 湖、長谷川直樹
 (慶應義塾大学感染症科/慶應義塾大学臨床検査医学教室) 上蓑 義典
 (国立感染症研究所) 吉田 光範
- 5-3 肺 *M. abscessus* 症の予後因子の検討 …………… (132)
 (弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター) ○白鳥 俊博
 (弘前大学医学部附属病院呼吸器内科・感染症科) 布村 恭仁、田坂 定智
 (弘前大学医学部附属病院感染制御センター) 糸賀 正道
- 5-4 難治性肺アブセッサス症治療において相乗効果が期待できる抗菌薬の探索…………… (132)
 (藤田医科大学医学部微生物学講座) ○北川 結惟、港 雄介
- 5-5 当院における肺 *M. abscessus* 症の治療成績 …………… (133)
 (福岡大学病院呼吸器内科) ○藤田 昌樹、大崎 優亮、佐々木朝矢
 春藤 裕樹、濱田 直樹、海老 規之
 井上 博之

 抗酸菌の薬剤感受性

6月10日(土) 14:30~15:10 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)

座長(北海道科学大学薬学部薬学科) 前田 伸 司

- 6-1 CLSI基準に準拠したMAC薬剤感受性試験……………(133)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) ○青野 昭男、近松 絹代、五十嵐ゆり子
 高木 明子、御手洗 聡
- 6-2 *Mycobacterium avium complex* の薬剤感受性の比較(その2) ……(名城大学薬学部) 加藤 蓮大 (133)
- 6-3 *Mycobacterium shinjukuense* の各種抗菌薬に対する薬剤感受性……………(133)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) ○五十嵐ゆり子、青野 昭男、近松 絹代
 森重 雄太、村瀬 良朗、山田 博之
 高木 明子
 (公益財団法人結核予防会結核研究所/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科) 御手洗 聡
- 6-4 異なる遺伝子変異を示したPyrazinamide 単独耐性結核菌が検出された2例……………(134)
 (国立病院機構茨城東病院臨床検査科) ○本木 裕也
 (国立病院機構茨城東病院内科診療部呼吸器内科) 野中 水、齋藤 武文
- 6-5 肺 *Mycobacterium avium* 症の薬物治療における薬剤感受性の変化(その1)……………(134)
 (名城大学薬学部薬学科/独立行政法人国立病院機構東名古屋病院) 榎間 雅乃

 抗酸菌症の外科的治療

6月10日(土) 14:30~15:10 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)

座長(国立病院機構東京病院呼吸器センター外科) 深見 武 史

- 7-1 *Mycobacterium avium* 感染巣による続発性気胸に対して胸腔鏡補助下舌区切除を行った1例……………(134)
 (浜松医科大学医学部附属病院外科学第一講座) ○関原 圭吾、川瀬 晃和、高梨 裕典
 早川 貴光、船井 和仁、椎谷 紀彦
- 7-2 多肺葉NTM症に対するCombined Complex Segmentectomy (CCS) の短期成績……………(134)
 (結核予防会複十字病院呼吸器外科) ○渥実 潤、白石 裕治、平松美也子
 下田 清美、川上 徹、荒井他嘉司
- 7-3 NTM合併有癭性膿胸に対するEWSの手法と管理……………(135)
 (結核予防会複十字病院呼吸器外科) ○下田 清美、川上 徹、渥実 潤
 平松美也子、白石 裕治
 (結核予防会複十字病院顧問) 荒井他嘉司
- 7-4 周術期を含む術前・術後に吸入アミカシンリポソーム製剤(ALIS)を導入した肺MAC症の一切除例……………(135)
 (国立病院機構茨城東病院呼吸器外科) ○中川 隆行、島内 正起
 (国立病院機構茨城東病院呼吸器内科) 野中 水、平野 瞳、荒井 直樹
 金澤 潤、齋藤 武文
- 7-5 非結核性抗酸菌症に対する肺切除の治療成績……………(135)
 (福岡大学病院呼吸器外科) ○中島 裕康、佐藤 寿彦
 (独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター呼吸器外科) 若原 純一、諸鹿 俊彦、濱武 大輔
 岡林 寛
 (独立行政法人国立病院機構福岡東医療センター呼吸器内科) 田尾 義昭

潜在性結核感染と結核発病

6月10日(土) 15:20~16:00 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)

座長 (川崎医科大学呼吸器内科) **小橋吉博**

- 8-1 潜在性結核治療前の胸部CTスクリーニングの意義についての検討…………… (135)
 (国立病院機構東徳島医療センター) 青野 純典
- 8-2 IGRAsの普及と接触者健診のあり方についての研究…………… (136)
 (千葉大学医学部附属病院感染制御部) ○猪狩 英俊
 (ちば県民保健予防財団) 鈴木 公典、露崎みづ枝、岡田 奈生
- 8-3 ベトナム医療従事者の潜在性結核感染症と宿主AMPキナーゼ遺伝子の関連…………… (136)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) ○宮林亜希子、土方美奈子、瀬戸真太郎
 若林 佳子、牛島 紗季
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶長 直人
- 8-4 免疫チェックポイント阻害薬投与中に発症した結核症例の検討…………… (136)
 (藤枝市立総合病院) ○小清水直樹、田中 和樹、津久井 賢
- 8-5 初期研修医に対する結核診療に関する教育の現状と課題…………… (136)
 (佐賀大学医学部附属病院呼吸器内科) 高橋浩一郎

MAC症の診断と治療

6月10日(土) 15:20~16:00 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)

座長 (北里大学薬学部臨床医学(生体制御学研究室)) **朝倉崇徳**

- 9-1 気管支洗浄培養による *M. avium-intracellulare complex* の検出と血清中抗Glycopeptidolipid core IgA抗体力価との関係…………… (137)
 (東北医科薬科大学感染症内科) ○島田 大嗣
 (埼玉医科大学医学部国際医療センター感染症科・感染制御科) 関 雅文
- 9-2 診断時に一般細菌の定着を認める肺 *Mycobacterium avium complex* 症の臨床経過の検討…………… (137)
 (公益財団法人結核予防会複十字病院呼吸器センター) ○伊藤 優志、古内 浩司、児玉 達哉
 藤原 啓司、上杉夫彌子、田中 良明
 吉山 崇、大田 健、森本 耕三
 (明治薬科大学薬物動態学研究室) 渡辺 史也
- 9-3 MAC症治療におけるリファンピシンを除いた2剤隔日投与について…………… (137)
 (国立病院機構天竜病院) ○白井 正浩、中村祐太郎、伊藤 靖弘
 金井 美穂、大場 久乃、藤田 薫
 大嶋 智子、永福 建、藤坂 由佳
- 9-4 無症状で診断された肺MAC症の臨床的検討—本邦診断基準の妥当性について—…………… (137)
 (結核予防会複十字病院) ○上杉夫彌子、藤原 啓司、伊藤 優志
 古内 浩司、田中 良明、大田 健
 森本 耕三
 (明治薬科大学) 渡辺 史也
 (結核予防会複十字病院/神奈川県立循環器呼吸器病センター) 鍋木 翔太

- 9-5 80歳以上の肺 Mycobacterium avium complex (MAC) 症例の治療実態…………… (138)
 (藤田医科大学医学部呼吸器内科学) ○山蔦久美子、堀口 智也、岡村 拓哉
 後藤 康洋、今泉 和良

結核の診断治療困難例、合併症

6月10日(土) 16:10~16:50 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)
 座長 (国立病院機構愛媛医療センター呼吸器内科) **阿 部 聖 裕**

- 10-1 当院における嫌気性菌合併空洞性肺結核例の検討…………… (138)
 (国立病院機構茨城東病院胸部疾患・療育医療センター内科診療部呼吸器内科) ○兵頭健太郎、高瀬 志穂、和田 静香
 江田 陽子、西野 顕吾、松田 峰史
 平野 瞳、野中 水、荒井 直樹
 金澤 潤、三浦由記子、林原 賢治
 石井 幸雄、大石 修司、齋藤 武文
 (国立病院機構茨城東病院胸部疾患・療育医療センター臨床研究部) 薄井 真悟
- 10-2 当院における間質性肺炎合併肺結核症の検討…………… (138)
 (独立行政法人国立病院機構東京病院呼吸器センター) ○安西 七海、島田 昌裕、佐々木結花
 佐藤 怜、鹿子木拓海、井上 恵理
 小田島丘人、成本 治、川島 正裕
 鈴木 純子、守尾 嘉晃、山根 章
 田村 厚久、松井 弘稔
- 10-3 糖尿病合併結核患者における血糖コントロールの重要性の検討…………… (138)
 (独立行政法人国立病院機構松江医療センター呼吸器内科) ○西川恵美子、門脇 徹、小林賀奈子
 坪内 佑介、岩本 信一、木村 雅広
 池田 敏和
- 10-4 呼吸不全を伴う活動性肺結核に対するステロイド治療についての検討…………… (139)
 (公立陶生病院呼吸器・アレルギー疾患内科) ○松田 俊明、島原 立樹、副島 和晃
 野口陽一郎、板東 知宏、太田 翔
 廣田 周子、萩本 聡、武井玲生仁
 笹野 元、富貴原 淳、山野 泰彦
 横山 俊樹、片岡 健介、木村 智樹
 近藤 康博
 (公立陶生病院感染症科) 武藤 義和
- 10-5 当初サルコイドーシスが疑われたが、経過観察中に肺結核を発症した一例…………… (139)
 (藤枝市立総合病院呼吸器内科) ○田中 和樹、津久井 賢、小清水直樹

 抗酸菌症の病原体と臨床病態

6月10日(土) 16:10~16:50 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)

座長 (昭和大学医学部内科学講座臨床感染症学部門) 温 麟太郎

- 11-1 BACES score を用いた肺 *Mycobacterium avium* complex 症の予後予測に関する検討…………… (139)
 (長崎大学病院呼吸器内科) ○武田 和明、伊藤 裕也、岩永 直樹
 迎 寛
 (長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学病院感染制御教育センター) 芦澤 信之
 (長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科薬物治療学分野) 平山 達朗
 (長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学病院感染症医療人育成センター) 井手昇太郎
 (長崎大学病院感染制御教育センター/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野)
 田代 将人、泉川 公一
 (長崎大学病院呼吸器内科/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野) 高園 貴弘
 (長崎大学病院検査部) 柳原 克紀
- 11-2 肺 *Mycobacterium intracellulare* subsp. *paraintracellulare*/*indicus pranii* 症3例の検討…………… (139)
 (国立国際医療研究センター病院呼吸器内科) ○森田 智枝、森野英里子、勝野 貴史
 辻本 佳恵、塩沢 綾子、橋本 理生
 寺田 純子、石井 聡、鈴木 学
 仲 剛、高崎 仁、飯倉 元保
 泉 信有、放生 雅章、杉山 温人
 (国立国際医療研究センター病院呼吸器内科/国立感染症研究所ハンセン病研究センター)
 深野 華子
 (国立感染症研究所ハンセン病研究センター) 星野 仁彦
- 11-3 非結核性抗酸菌の抗結核薬耐性メカニズム解明…………… (140)
 (藤田医科大学医学部微生物学講座) ○藤山明日翔、港 雄介

- 11-4 MGIT-seqによる非結核性抗酸菌における菌株と薬剤耐性の同定…………… (140)
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学) ○新津 敬之、安部 祐子
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学/国立病院機構大阪刀根山医療センター呼吸器内科/
 大阪大学免疫学フロンティアセンター自然免疫学/国立病院機構大阪刀根山医療センター臨床検査部)
 福島 清春
 (大阪大学免疫学フロンティアセンター遺伝情報実験センター感染症メタゲノム研究分野)
 松本 悠希
 (国立病院機構大阪刀根山医療センター呼吸器内科) 松木 隆則、新居 卓郎、辻野 和之
 三木 啓資、木田 博
 (国立病院機構大阪刀根山医療センター臨床検査部) 齋藤 晴子、山内 寿里、新田 忠義
 (大阪大学免疫学フロンティアセンター遺伝情報実験センター感染症メタゲノム研究分野/
 大阪大学先導的学祭研究機構先端医科学融合フロンティア研究部門)
 元岡 大祐、中村 昇太
 (大阪大学大学院医学系研究科医学統計学) 小向 翔
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器外科学) 福井絵理子
 (大阪大学免疫学フロンティアセンター自然免疫学) 鍋島 弘嗣、永濱 康晴、審良 静男
 (北田内科・呼吸器内科) 北田 清悟
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学/
 大阪大学先導的学祭研究機構先端医科学融合フロンティア研究部門)
 熊ノ郷 淳
- 11-5 肺 *Mycobacterium intracellulare* 症における臨床経過と遺伝子型との関連…………… (140)
 (福岡大学病院呼吸器内科/昭和大学病院臨床感染症学部門) ○温 麟太郎
 (福岡大学病院呼吸器内科) 大崎 優亮、藤田 昌樹
 (国立病院機構福岡病院) 片平 雄之
 (国立病院機構福岡東医療センター) 田尾 義昭
 (国立病院機構大牟田病院) 若松謙太郎
 (九州大学病院呼吸器内科) 原田 英治

結核臨床の現状と問題点

6月11日(日) 8:30~9:10 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)

座長 (公益財団法人結核予防会結核研究所対策支援部) 太田 正樹

- 12-1 近年の結核登録者数の推移に関する一考察…………… (140)
 ((公財)結核予防会総合健診推進センター) 田川 齊之
- 12-2 過去5年間の当院結核病棟入院患者の動向について…………… (141)
 (国立病院機構沖縄病院呼吸器内科) ○大湾 勤子、仲本 敦、比嘉 太
 知花 賢治、名嘉山裕子、藤田 香織
 久田 友哉
- 12-3 当院の高齢結核患者の現状……………(国立病院機構西新潟中央病院) 長谷川梨絵 (141)
- 12-4 結核に関する疾病登録時の問題点(ICD-10及びMEDIS) ……(国立病院機構沖縄病院) 藤田 香織 (141)
- 12-5 わが国の1980年代の結核罹患率の減少鈍化とその後の逆転上昇に関する考察…………… (141)
 (結核予防会結核研究所) ○石川 信克、内村 和広、森 亨

MAC 症臨床の現状と問題点

6月11日(日) 8:30~9:10 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)

座長(国立病院機構茨城東病院呼吸器内科) **野中 水**

- 13-1 当院における肺 MAC 症の臨床的検討…………… (142)
 (山口大学医学部附属病院呼吸器・感染症内科) ○末竹 諒、村田 順之、大石 景士
 山路 義和、坂本 健次、浅見 麻紀
 枝國 信貴、平野 綱彦、松永 和人
- 13-2 当院の肺 MAC 症診療の現状……………(松山赤十字病院呼吸器内科) 牧野 英記 (142)
- 13-3 結核病学の遺産を活用した外来治療で、長期安定した経過をとった MAC 症症例の検討…………… (142)
 (JCHO 東京山手メディカルセンター呼吸器内科) 徳田 均
- 13-4 当院における肺 MAC 症の検討…………… (142)
 (国立病院機構天竜病院) ○藤坂 由佳、中村祐太郎、金井 美穂
 大場 久乃、藤田 薫、伊藤 靖弘
 大嶋 智子、永福 建、白井 正浩
- 13-5 マクロライド耐性肺 Mycobacterium avium complex 症における耐性化の可塑性と治療選択…………… (143)
 (大阪大学大学院医学系研究科呼吸器・免疫内科学) ○安部 祐子、福島 清春、新津 敬之
 熊ノ郷 淳
 (大阪大学微生物病研究所感染症メタゲノム研究分野) 松本 悠希、元岡 大祐、中村 昇太
 (大阪刀根山医療センター呼吸器内科) 北田 清悟、新居 卓郎、松木 隆則
 木田 博

粟粒結核、肺外結核、小児結核

6月11日(日) 9:20~10:00 D会場(京王プラザホテル 南館3階 グレースルーム)

座長(国立病院機構大牟田病院呼吸器内科) **若松 謙太郎**

- 14-1 ARDS 合併粟粒結核に対するステロイドパルス療法の有効性に関する臨床的検討…………… (143)
 (NHO 大牟田病院呼吸器内科) ○若松謙太郎、熊副 洋幸、原 真紀子
 長岡 愛子、野田 直孝、大塚 淳司
 川崎 雅之
 (福岡山王病院呼吸器内科) 永田 忍彦
 (西福岡病院呼吸器内科) 原田 泰子
- 14-2 悪性腫瘍との鑑別を要した結核性リンパ節炎の気管内穿破の1例…………… (143)
 (三重大学医学部附属病院呼吸器内科学) ○岡野 智仁、藤本 源、岩中 宗一
 伊藤 稔之、古橋 一樹、大岩 綾香
 鶴賀 龍樹、齋木 晴子、藤原 拓海
 都丸 敦史、高橋 佳紀、小林 哲
 (国立病院機構三重中央医療センター呼吸器内科) 坂倉 康正、井端 英憲
- 14-3 生後5か月で発症した重症肺結核児の長期経過について…………… (143)
 (兵庫県立尼崎総合医療センター小児感染症内科) 中橋 達

- 14-4 難治性結核性髄膜炎に対してイソニアジドとステロイドの髄腔内投与が有効であった一例…………… (144)
 (佐世保市総合医療センター呼吸器内科/長崎大学病院呼吸器内科 (第二内科)) ○田川 隆太
 (長崎大学病院呼吸器内科 (第二内科)/長崎大学病院感染制御教育センター) 芦澤 信之
 (長崎大学病院呼吸器内科 (第二内科)/嬉野医療センター呼吸器内科) 高尾 大祐
 (長崎大学病院呼吸器内科 (第二内科)) 伊藤 裕也、武田 和明、岩永 直樹
 迎 寛
 (長崎大学病院感染症医療人育成センター) 井手昇太郎
 (長崎大学病院感染制御教育センター/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野)
 田代 将人、泉川 公一
 (長崎大学病院呼吸器内科 (第二内科)/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野) 高園 貴弘
 (長崎大学病院感染制御教育センター) 田中 健之
 (長崎大学病院呼吸器内科(第二内科)/琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座(第一内科))
 山本 和子
 (長崎大学病院検査部) 柳原 克紀
- 14-5 粟粒結核症例の検討…………… (144)
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) ○佐々木結花、川島 正裕、鈴木 純子
 武田 啓太、井上 恵理、中野 恵理
 成本 治、島田 昌裕、渡辺 将人
 山根 章、守尾 嘉晃、田村 厚久
 永井 英明、松井 弘稔

NTM 診断、治療困難例

6月11日(日) 9:20~10:00 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)
 座長 (国立病院機構近畿中央呼吸器センター臨床研究センター) 倉原 優

- 15-1 *M. avium* complex 骨髄炎の反復が疑われた12歳男児例…………… (144)
 (埼玉県立小児医療センター感染免疫アレルギー科) ○武井 悠、古市美穂子、出口薫太郎
 大西 卓磨、菅沼 栄介
 (埼玉県立小児医療センター整形外科) 平良 勝章
 (埼玉県立小児医療センター病理診断科) 市村香代子
- 15-2 肺癌の経過観察中に合併した肺非結核性抗酸菌症の臨床的検討…………… (144)
 (川崎医科大学呼吸器内科) 小橋 吉博
- 15-3 肺非結核性抗酸菌症の診断における胸部単純X線側面像の意義…………… (145)
 (国立病院機構西別府病院) ○牛嶋 量一、瀧川 修一
 (大分大学医学部結核医療体制強化事業/大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 山末 まり
 (大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 小宮 幸作、平松 和史
- 15-4 肺非結核性抗酸菌症の悪化と同時多発肺腺癌の発症を同時期に認め、診断に苦慮した一例…………… (145)
 (独立行政法人国立病院機構西別府病院呼吸器内科/大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座)
 ○渡邊絵里奈
 (大分大学医学部結核医療体制強化事業/大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 山末 まり
 (大分大学医学部呼吸器・感染症内科学講座) 小宮 幸作、藤島 宣大、平松 和史
 (独立行政法人国立病院機構西別府病院呼吸器内科) 瀧川 修一

- 15-5 播種性 NTM 症が再燃し、IFN γ 注射製剤を導入した常染色体優性遺伝型 IFN- γ R1 部分欠損症の 1 例
 (145)
 (慶應義塾大学医学部感染症学教室) ○南宮 湖、長谷川直樹

抗酸菌の病原性、耐性メカニズム

6月11日(日) 10:10~10:50 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)
 座長 (大阪公立大学生生活科学研究科) 和田 崇之

- 16-1 南極環境から分離した新種候補の耐冷性 *Mycobacterium* sp. (145)
 (東京医科歯科大学病院呼吸器内科) ○島田 翔
 (東邦大学医学部微生物・感染症学講座) 塩沢 綾子
- 16-2 *Mycobacterium abscessus* complex 臨床分離株における glycopeptidolipid の欠失と形態変化 (146)
 (帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科) ○藤原 永年
 (結核予防会結核研究所抗酸菌部) 山田 博之
 (独立行政法人国立病院機構近畿中央呼吸器センター) 小林 岳彦、吉田志緒美
 (琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学) 金城 武士、鍋谷大二郎、
 新垣 若子
 (北海道科学大学薬学部薬学科) 前田 伸司
- 16-3 宿主 *ASAP1* 遺伝子バリエーションと結核発病抵抗性の関連 (146)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) ○若林 佳子、土方美奈子、宮林亜希子
 牛島 紗季、瀬戸真太郎
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶長 直人
- 16-4 結核菌感染ヒトマクロファージ細胞における転写因子 *SP110*、*SP140* 遺伝子の機能解析 (146)
 (公益財団法人結核予防会結核研究所生体防御部) ○中村 創、瀬戸真太郎、土方美奈子
 (公益財団法人結核予防会結核研究所) 慶長 直人
- 16-5 CRISPR-Cas9 を利用した抗酸菌の遺伝子破壊変異株の作製 (146)
 (北海道科学大学薬学部薬学科) ○前田 伸司
 (帝塚山大学現代生活学部食物栄養学科) 藤原 永年
 (国立感染症研究ハンセン病研究センター) 星野 仁彦
 (結核予防会結核研究所) 慶長 直人

気管支拡張症、さまざまな抗酸菌症

6月11日(日) 13:10~13:58 E会場(京王プラザホテル 本館4階 花B)
 座長 (飯塚病院呼吸器内科) 花香 未奈子

- 17-1 特発性気管支拡張症に対する短期間の経口キノロン系抗菌薬の投与 (147)
 (東京大学医学部附属病院呼吸器内科/JCHO 東京山手メディカルセンター呼吸器内科)
 ○結城 将明
 (JCHO 東京山手メディカルセンター呼吸器内科) 吉永 忠嗣、東海林寛樹、笠井 昭吾
 大河内康実、徳田 均

- 17-2 陳旧性肺結核に伴う咯血に対する気管支動脈塞栓術 BAE の治療成績 …………… (147)
 (国立病院機構東京病院肺循環・咯血センター/国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科)
 ○川島 正裕、伊藝 博士、武田 啓太
 榎本 優、日下 圭、守尾 嘉晃
 (国立病院機構東京病院肺循環・咯血センター) 益田 公彦
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器内科) 島田 昌裕、山根 章、佐々木結花
 永井 英明、田村 厚久、松井 弘稔
 (国立病院機構東京病院呼吸器センター呼吸器外科) 深見 武史
- 17-3 自己免疫性肺胞蛋白症に非結核性抗酸菌症 (*Mycobacterium stomatopiae*) を合併した1例 …………… (147)
 (国立病院機構沖縄病院呼吸器内科) ○知花 賢治、久田 友哉、名嘉山裕子
 藤田 香織、仲本 敦、比嘉 太
 大湾 勤子
- 17-4 サルコイドーシスの治療中に *Mycobacterium genavense* 感染が判明した1例 …………… (147)
 (長崎大学病院呼吸器内科 (第二内科)) ○緒方 凌、武田 和明、伊藤 裕也
 岩永 直樹、迎 寛
 (長崎大学病院呼吸器内科 (第二内科)/長崎大学病院感染制御教育センター) 芦澤 信之
 (長崎大学病院感染症医療人育成センター) 井手昇太郎
 (長崎大学病院呼吸器内科 (第二内科)/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野)
 高園 貴弘
 (長崎大学病院感染制御教育センター/長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野)
 泉川 公一
 (長崎大学病院検査部) 柳原 克紀
- 17-5 腫瘍を形成し薬物療法が奏功した肺 *M. goodii* 症の一例 …………… (148)
 (弘前大学医学部附属病院呼吸器内科・感染症科) ○布村 恭仁、田坂 定智
 (弘前大学医学部附属病院高度救命救急センター) 白鳥 俊博
 (弘前大学医学部附属病院感染制御センター) 糸賀 正道
 (公益財団法人結核予防会結核研究所抗酸菌部) 近松 絹代、御手洗 聡
- 17-6 HFNC が有効であった2型慢性呼吸不全を呈する気管支拡張を伴う慢性下気道感染症の2例 …… (148)
 (国立病院機構東京都病院呼吸器疾患と神経難病のための呼吸ケアセンター) 坪井 知正